

広島大学図書館年次報告
2023（令和5）年度

1. 自己点検・評価		4. 社会貢献	
1-1.資料の整備と活用	p.2	4-1.学外者の利用	p.36
1-2.施設・設備の整備	p.2	4-2.デジタルアーカイブ	p.36
1-3.職員の配置と活用	p.2	4-3.地域・国際交流プラザ	p.37
1-4.利用者からの意見聴取	p.2	4-4.講演会	p.37
		4-5.サイエンスカフェ	p.37
		4-6.その他	p.37
2. 学習／学修支援		5. 管理運営等	
2-1.図書館資料の整備	p.4	5-1.組織運営	p.38
2-2.図書館資料の活用	p.9	5-2.図書館運営会議	p.38
2-3.図書館資料の効果的利用	p.13	5-3.予算決算	p.39
2-4.図書館施設の整備	p.19	5-4.広島大学図書館活動助成金	p.40
2-5.図書館施設の活用	p.21	5-5.職員数	p.41
2-6.図書館の活用を促す取り組み	p.24	5-6.施設設備	p.42
		5-7.他の図書館等との連携	p.42
3. 研究支援		6. その他	
3-1.電子的学術情報資料の整備	p.28	6-1.2023年度の主な動き	p.43
3-2.電子的学術情報資料の活用	p.30	6-2.理念と目標	p.45
3-3. APC 支援と転換契約	p.30	6-3.歴代図書館長	p.47
3-4.学術情報リポジトリ	p.31	6-4.沿革（抄）	p.48
3-5.広島大学出版会	p.33		
3-6.ライティングセンター	p.33		

2024年12月
広島大学図書館

1. 自己点検・評価

1-1.資料の整備と活用

340万冊を超える蔵書の他、多くの雑誌・電子ジャーナル・データベース・電子書籍が整備され、有効に活用されている。

資料購入費は年々減少しており、購入できる資料の冊数も減少傾向にあるが、教員、学生の要望をできるだけ蔵書構成に反映させるべく予算が配分されている。

資料の貸出冊数は減少傾向にあるが、学生希望として購入された図書は、よく利用されている。また、コロナ禍を経て、電子書籍の利用も多くなってきている。

これからも利用者の要望を蔵書構成に適切に反映させるとともに、学生の多様な学問分野への興味・関心を喚起できるよう、バランスの取れた蔵書構築を進めていきたい。

1-2.施設・設備の整備

図書館は3キャンパスに5館整備されており、延床面積は27,892㎡である。閲覧席・グループ学習室・閲覧個室・ラーニングcommons・書庫など大学の多様な学習・教育・研究を支えるために必要なスペースが整備されている。

2023年度は東千田キャンパスの改修が終了し、利用者に対してより快適な学修空間の提供が実現した。

1-3.職員の配置と活用

東広島キャンパス3館、霞キャンパス1館、東千田キャンパス1館の計5館の図書館を運営するため、それぞれの館の特色に応じて職員を配置し、大学の学習・教育・研究を支える業務をおこなっている。

1-4.利用者からの意見聴取

図書館ウェブサイトでは常に投書を受け付けている。寄せられた意見には適宜対応するとともに業務改善の課題としている。2023年はウェブサイトからは14件の意見があり、蔵書等に関する要望が3割、空調等が2割、利用者マナー等が2割、その他が3割であった。

■資料の整備

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
蔵書冊数（冊）	3,441,829	3,422,814	3,407,882
所蔵雑誌（種類数）	58,874	58,542	58,491
電子ジャーナル（種類数）	24,923	22,683	24,879
（内、出版社）	7,477	7,416	7,359
（内、アグリゲータ）	17,446	15,267	17,520
データベース	44	44	44
電子書籍	8,437	9,089	10,089

※重複資料の整理（除籍）を進めているので、蔵書冊数・所蔵雑誌種類数は減少している。

■資料の活用

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
貸出冊数	157,929	141,084	137,111
電子ジャーナル	1,823,557	1,829,826	1,854,316
データベース	623,737	733,136	780,730
電子書籍	162,009	174,350	234,141

※電子ジャーナルは論文ダウンロード数、データベースは検索数、電子書籍はアクセス数。

■施設の整備と活用

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
平均開館日数	242	240	284	285	292
平均開館時間	3,004	2,527	3,251	3,590	3,651
入館者数	1,023,821	411,322	590,786	607,856	668,367

※平均開館日数と平均開館時間は5館の平均。2019年度は東図書館・西図書館・霞図書館の改修があったため、2020年度～2022年度は新型コロナウイルス感染症の感染防止対応のため減少している。2023年度についても、コロナ以前の入館者数に戻っていないが、これは、全国的に同様の傾向がみられている。

■職員による図書館利用支援（利用ガイダンス等。オンラインを含む）

	2019 年度	2020 年度	2021 年度	2022 年度	2023 年度
開催回数	108	47	50	46	37
延参加者数	6,883	3,984	3,306	3,359	3,209

2. 学習／学修支援

2-1. 図書館資料の整備

図書館の蔵書数は、2023年度末現在で3,407,882冊であり、その70%にあたる2,374,636冊を5館に分けて収容しており、残り1,033,246冊が研究室等に配置されている。また、所蔵している雑誌の種類数（タイトル数）は、58,491種類（タイトル）である。

蔵書数		図書			雑誌（種類数）		
		計	和書	洋書	計	和	洋
東 広 島	中央	2,268,294	1,455,017	813,277	41,126	23,807	17,319
	東	239,578	124,707	114,871	7,553	4,578	2,975
	西	638,914	385,335	253,579	3,612	1,504	2,108
広 島	霞	191,975	115,847	76,128	4,773	3,521	1,252
	東千田	69,121	66,861	2,260	1,427	1,010	417
計		3,407,882	2,147,767	1,260,115	58,491	34,420	24,071

図書館 収容冊数		開架冊数		閉架冊数	総冊数	図書館収容総 冊数／蔵書数
			うち参考資料			
東 広 島	中央	1,162,205	12,152	481,992	1,644,197	72%
	東	152,612	0	0	152,612	64%
	西	414,919	5,459	758	415,677	65%
広 島	霞	65,935	435	4,187	70,122	37%
	東千田	84,340	1,331	7,688	92,028	133%
計		1,880,011	19,377	494,625	2,374,636	70%

※中央図書館の閉架冊数は自動書庫及び貴重資料室などに収容されている冊数。B2F 書庫は開架書庫としている。

図書受入数		図書受入数			除籍数		
		合計	和	洋	合計	和	洋
東 広 島	中央	9,618	7,866	1,752	22,833	8,388	14,445
	東	181	71	110	1,007	797	210
	西	2,120	2,063	57	5,006	2,674	2,332
広 島	霞	1,149	1,107	42	217	189	28
	東千田	1,183	1,141	42	120	105	15
計		14,251	12,248	2,003	29,183	12,153	17,030

電子書籍 受入数	
国内	718
海外	282
計	1,000

2023年度の図書受入数は14,251冊、電子書籍は1,000点、雑誌受入数（電子ジャーナルを含まない）は3,259種類（タイトル）、視聴覚資料の受入は0点であった。一方、汚損・破損・紛失・重複等の理由によって除籍した資料は29,183冊であり、結果として蔵書数は14,932冊減少した。

図書受入数の内訳		購入			寄贈			その他		
		小計	和	洋	小計	和	洋	小計	和	洋
東広島	中央	4,892	4,287	605	3,530	2,827	703	1,196	752	444
	東	57	26	31	65	11	54	59	34	25
	西	1,998	1,982	16	53	39	14	69	42	27
広島	霞	819	787	32	97	90	7	233	230	3
	東千田	1,011	976	35	40	39	1	132	126	6
計		8,777	8,058	719	3,785	3,006	779	1,689	1,184	505

雑誌受入種類数		雑誌受入種類数			購入			寄贈		
		合計	和	洋	小計	和	洋	小計	和	洋
東広島	中央	1,966	1,551	415	1,124	743	381	842	808	34
	東	200	145	55	106	54	52	94	91	3
	西	162	122	40	160	120	40	2	2	0
広島	霞	478	389	89	234	152	82	244	237	7
	東千田	453	342	111	305	196	109	148	146	2
計		3,259	2,549	710	1,929	1,265	664	1,330	1,284	46

新聞受入種類数		新聞受入種類数			購入			寄贈		
		合計	和	洋	小計	和	洋	小計	和	洋
東広島	中央	20	14	6	18	12	6	2	2	0
	東	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	西	10	9	1	10	9	1	0	0	0
広島	霞	12	10	2	8	6	2	4	4	0
	東千田	9	6	3	8	5	3	1	1	0
計		51	39	12	44	32	12	7	7	0

※複数の館で同じ新聞（例えば朝日新聞は4館）を受け入れていることがある。

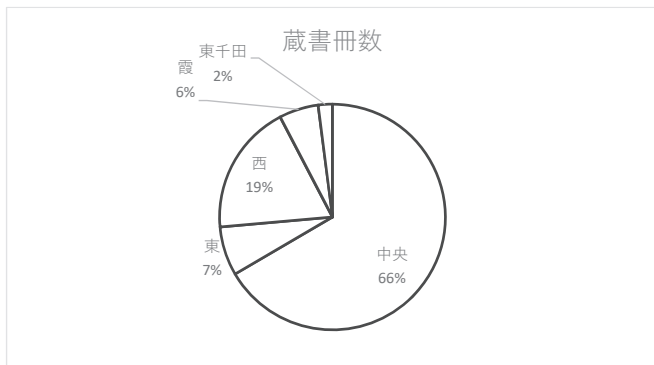


図1-1.図書館別蔵書冊数の比率

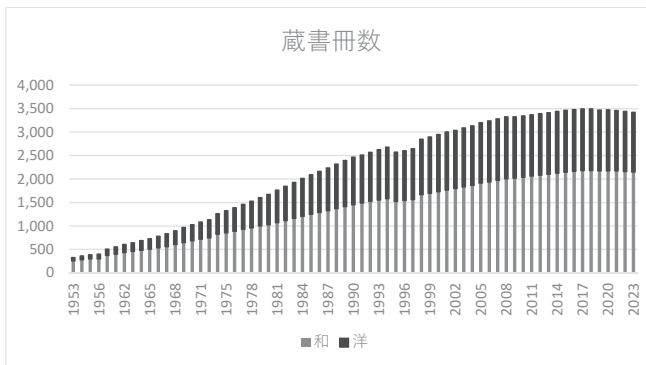


図1-2.図書館蔵書冊数

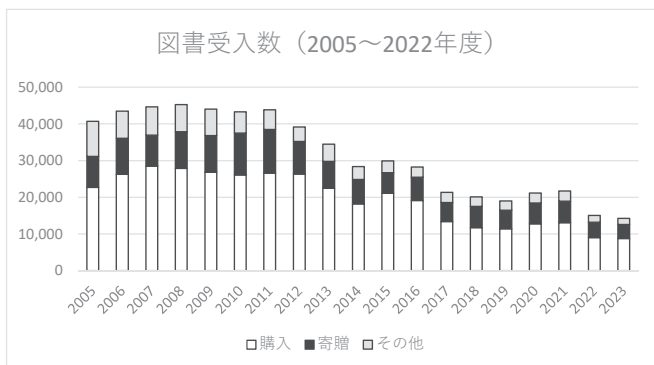


図1-3.図書受入数

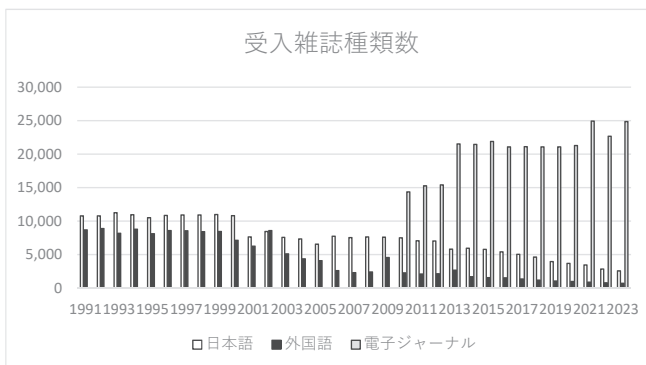


図1-4.受入雑誌種類数



図1-5.視聴覚資料受入数

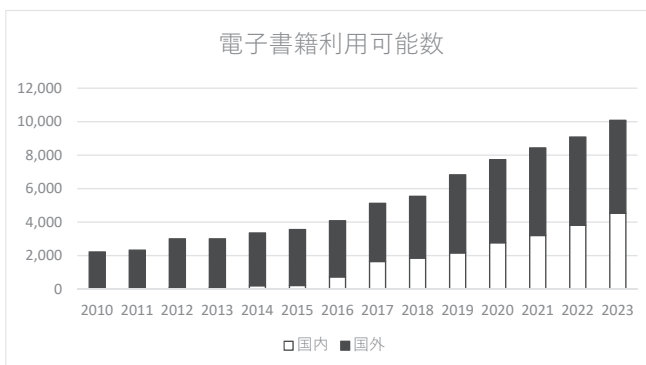


図1-6.電子書籍利用可能点数

図書館で購入する資料は、図書館運営会議の下に資料選定のための4つの専門部会（人文・社会科学系専門部会、教育科学系専門部会、自然科学系専門部会、生命科学系専門部会）及び資料選定事務部会を設置し、そこで選定するとともに、学部学生、大学院生及び教員からのリクエストを随時受け付けることで、多様な視点に基づいた資料が必要に応じて整備されるようにしている。

各図書館には、各キャンパスの学部構成や学部の配置に応じて資料を配置している。

- ・中央図書館 人文・社会科学分野（教育科学を含む）、自然科学分野（理系）及び学際分野。自動書庫には出版後10年が経過し、利用が減少した資料を配置
- ・東図書館 自然科学分野
- ・西図書館 教養的教育分野、自然科学分野（工学系、農林水産学系）
- ・霞図書館 生命科学分野
- ・東千田図書館 法学、経済学分野、教養的教育分野

近年、電子書籍の導入に力を入れている。2023年度は国内書籍718点、海外書籍282点の計1,000点を整備した。この結果、累計10,089点が利用できるようになった（買い切りの電子書籍の整備）。このほかにデータベース等の一部として利用可能となっている電子書籍が25,644点あり、計35,733点が利用できる。

また、学生用電子資料として参考資料等を整備しており、利用数（2023年度・4月～3月）は次の通りである。なお、国内の出版社等が提供する利用統計は算出方法が統一されていないので、あくまでも参考に過ぎない。

その他、2023年度に次の整備・トライアル等をおこなった。

- ・CINAHL 同時接続数 4 → 無制限
- ・Japan Knowledge Lib の同時接続数 4 → 10（現在は無制限）
- ・情報処理学会発行の電子ジャーナルのトライアル（8/1～3/31）
- ・医書.jp のトライアル（10/2～12/10）
- ・メディカルオンラインイーブックス（10/2～2/1）
- ・朝日新聞クロスサーチ・オプション無料トライアル（11/1～1/31）
- ・Maruzen eBook Library 試読サービストライアル実施（9/25～3/23）

学生用電子資料	利用数	摘要
ジャパンナレッジ Lib + 日本歴史地名大系、 国史大辞典、新編国歌大観、角川日本地名大 辞典	179,657	本文参照回数 同時アクセス 4 (9月まで) 同時アクセス 10 (10月以降)
大漢和辞典 (ジャパンナレッジ Lib) (上の外 数)	40,366	同時アクセス 10
Westlaw Japan (新日本法規出版)	35,115	検索・表示数
研究社オンラインディクショナリー(KOD)	169	ログイン回数 同時アクセス 5
雑誌記事索引集成 DB (皓星社)	1,370	検索数 同時アクセス 1
理科年表プレミアム	74	ログイン回数
中国新聞 plus 日経テレコン中国新聞コース	7,560	記事ダウンロード数 同時アクセス 2
朝日新聞クロスサーチ	43,218	本文表示数など 同時アクセス 2
日経テレコン 21	112,868	記事ダウンロード数 同時アクセス 3
毎索 (毎日新聞社データベース)	1,068	ログイン回数 同時アクセス 1
ヨミダス歴史館 (読売新聞記事データベー ス)	データなし	同時アクセス 1
20世紀メディア情報データベース(占領期の 雑誌・新聞情報 1945-1949)	68 185	ログイン回数 検索回数
Essay and general literature index	4,388	検索回数 同時アクセス 1
NAXOS MUSIC LIBRARY	2,534	ログイン数 同時アクセス 5
Web OYA-bunko 教育機関版 (大宅壮一文 庫)	91	ログイン数 同時アクセス 1

各図書館が所蔵する蔵書の分類別冊数は次の通り（原則として日本十進分類法で分類・2025.3.12）。蔵書目録のデータ化の進捗率が約 82%（未遡及冊数が約 63 万冊）であるため、おおよその数字となるが、各館が担当する部局等の蔵書の特徴がよく表れている。

分類別冊数		総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術
東 広 島	中央	70,459	93,745	171,566	436,088	133,438	41,514
	東	4,465	232	463	2,024	20,067	29,413
	西	15,863	37,063	41,531	93,237	65,044	29,781
広 島	霞	332	744	285	2,172	42,353	494
	東千田	1,901	3,462	3,388	50,342	5,606	2,650
計		93,020	135,246	217,233	583,863	266,508	103,852

分類別冊数		産業	芸術	言語	文学	その他	合計
東 広 島	中央	33,799	47,328	42,439	116,676	107,359	1,294,411
	東	9,274	510	192	591	383	67,614
	西	12,555	18,973	27,317	83,697	48	425,109
広 島	霞	121	803	488	834	30	48,656
	東千田	2,704	1,625	2,172	3,132	350	77,332
計		58,453	69,239	72,608	204,930	108,170	1,913,122

※「総記」は、哲学から文学までの分類のいずれにも該当しないもの。

※「その他」は、教科書など NDC を用いて分類していないもの。

2-2. 図書館資料の活用

広島大学の学部学生数は 9976 名、大学院生数は 3,790 名（いずれも収容定員数）である。図書館の資料貸出冊数に占める学生（学部学生＋大学院生）の割合は全体の 79% である。2023 年度の図書の貸出冊数は 137,111 冊であり、2 年連続して前年度より減少している。なお、2019 年度より貸出冊数の計算方法を変更している（「貸出」のみから「貸出＋更新」へ）。図書館別の貸出冊数では、全体の 66% を中央図書館が占めている。

電子書籍の利用件数は順調に伸びている。ただ、電子書籍の利用統計は海外製品と国内製品とで算出方法が異なる。海外製品は図書の章あるいは節のダウンロード回数であり、国内製品（買い切りの電子書籍）は書籍へのアクセス回数（書籍を開いた回数に相当すると思われる）である。また、国内の電子書籍の利用統計は出版社によって算出方法が異なること、トライアル期間の利用件数を含んでいることから、図書の貸出回数と電子書籍の利用回数とを単純に比較することは適切ではない。

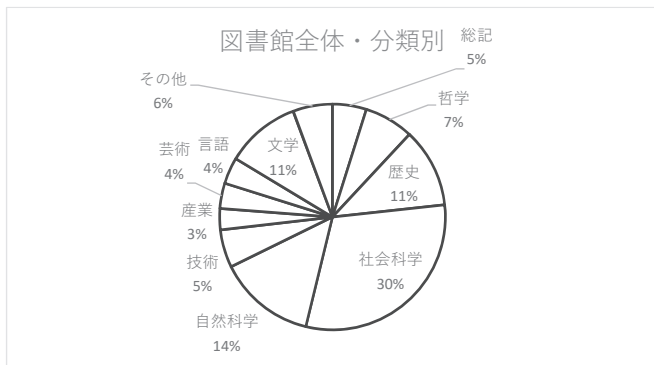


図2-1.図書館5館の分類別蔵書構成

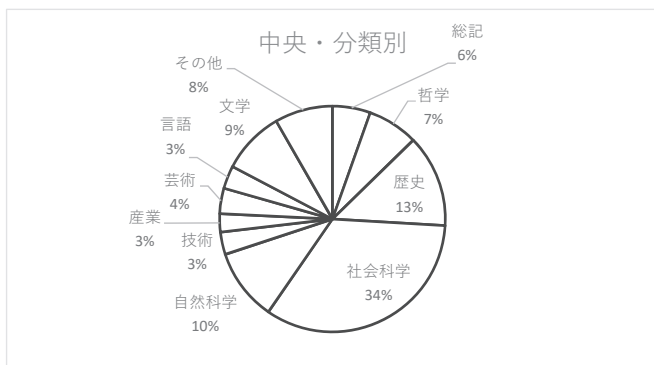


図2-2.中央図書館の分類別蔵書構成

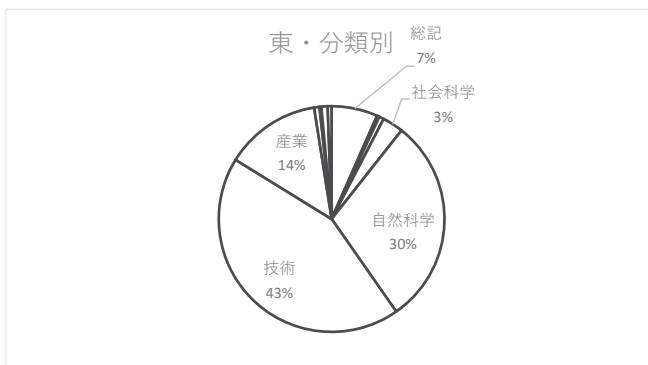


図2-3.東図書館の分類別蔵書構成

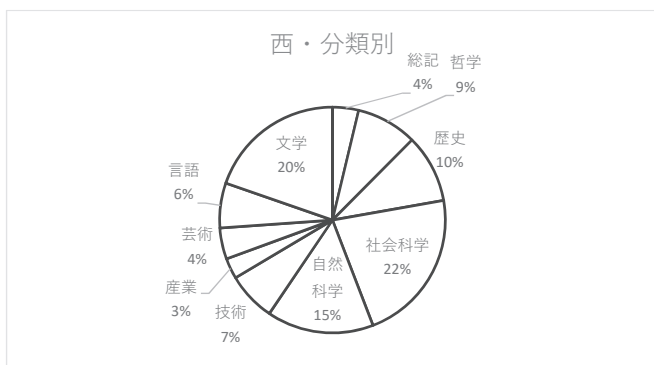


図2-4.西図書館の分類別蔵書構成



図2-5.霞図書館の分類別蔵書構成

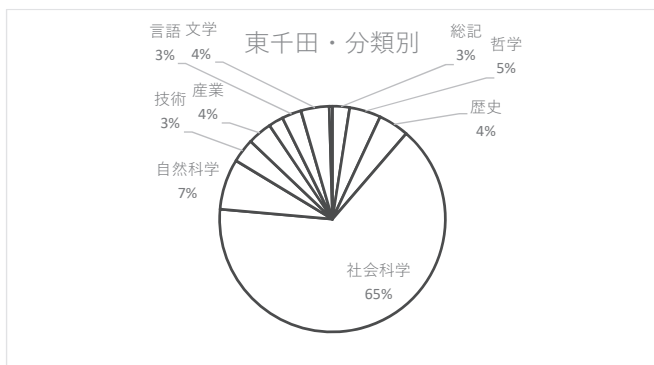


図2-6.東千田図書館の分類別蔵書構成

利用者数		合計	学内者			学外者利 用登録数
			小計	学生	教職員	
東広島	中央	8,173	7,651	6,392	1,259	522
	東・西	5,583	5,583	5,197	386	0
広島	霞	4,869	4,755	3,014	1,741	114
	東千田	1,693	1,335	1,255	80	358
計		20,318	19,324	15,858	3,466	994

貸出		貸出冊数				貸出人数			
		合計	学生	教職員	学外者	合計	学生	教職員	学外者
東 広 島	中央	91,141	74,225	12,324	4,592	40,959	34,363	4,960	1,636
	東	385	317	68	0	253	50	203	0
	西	30,421	25,526	3,351	1,544	15,029	12,943	1,512	574
広 島	霞	8,710	5,498	2,590	622	4,646	3,227	1,178	241
	東千田	6,454	3,395	1,324	1,735	4,631	3,395	564	672
計		137,111	108,961	19,657	8,493	65,518	53,978	8,417	3,123

分類別和洋別貸出冊数（2023年度・更新含む）

	総記	哲学	歴史	社会科学	自然科学	技術
和	5,083	9,999	10,991	37,836	29,190	6,188
洋	231	540	335	1,141	1,172	174
計	5,314	10,539	11,326	38,977	30,362	6,362

	産業	芸術	言語	文学	その他	計
和	2,257	6,108	8,981	16,521	1,914	135,068
洋	73	119	1,469	782	159	6,195
計	2,330	6,227	10,450	17,303	2,073	141,263

新しく購入した図書がよく利用されていることを示すため、資料の回転率（＝貸出回数／受入冊数）を計算した。比較するために図書館に所蔵する図書全体の回転率を示している。特に学生希望図書がよく利用されている。

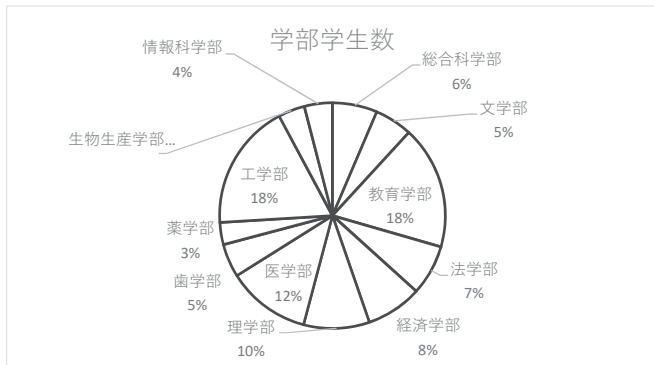


図3-1.学部学生の構成 (収容定員)

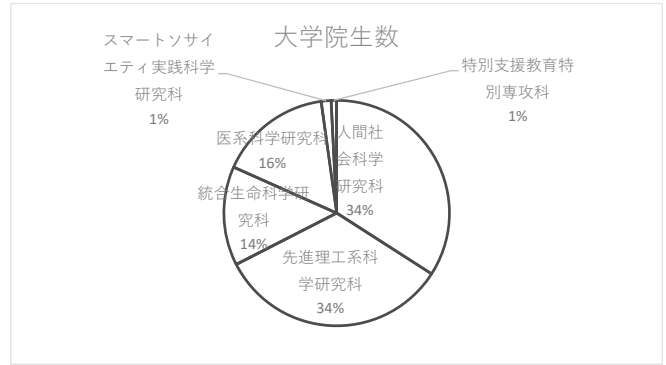


図3-2.大学院生の構成 (収容定員)

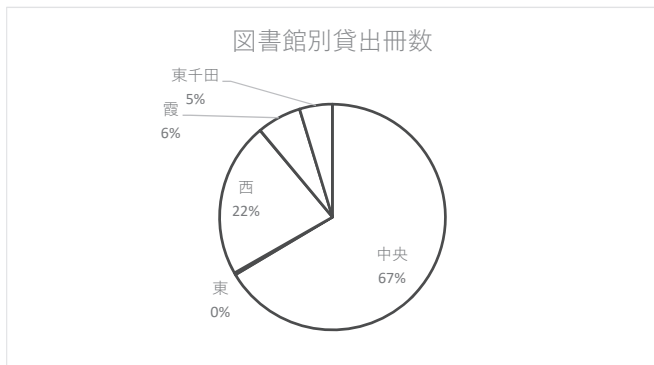


図3-3.貸出冊数の構成 (図書館別)

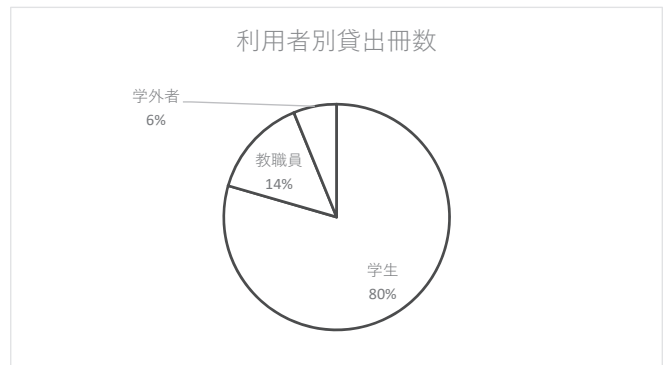


図3-4.貸出冊数の構成 (利用者別)

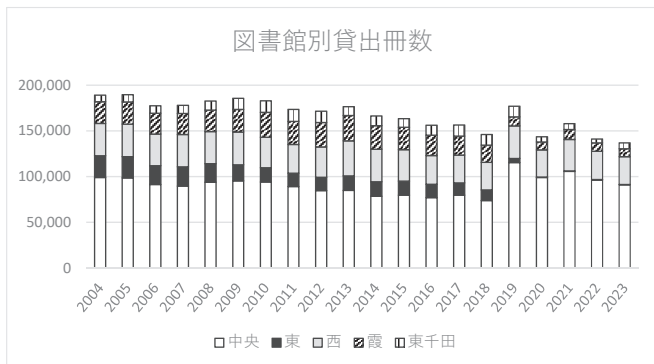


図3-5.図書館別貸出冊数

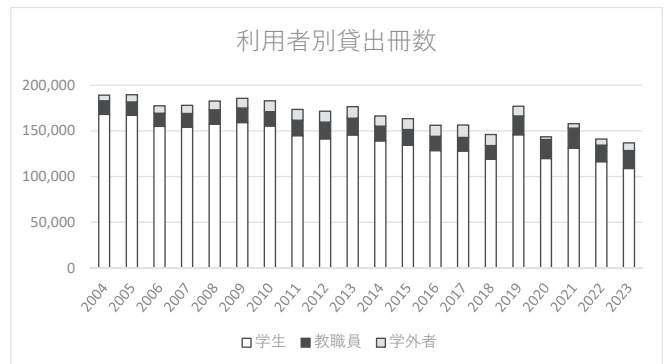


図3-6.利用者種別貸出冊数

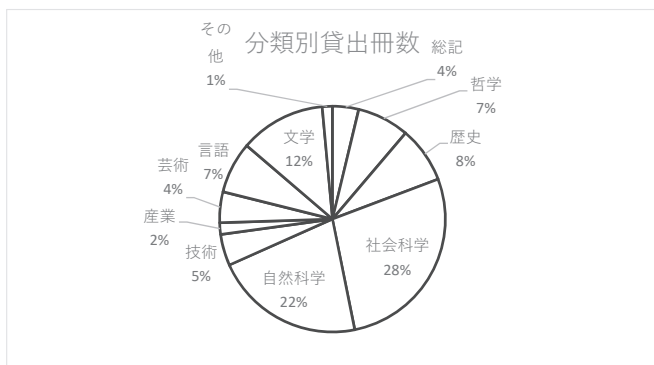


図3-7.貸出冊数の構成 (分類別)

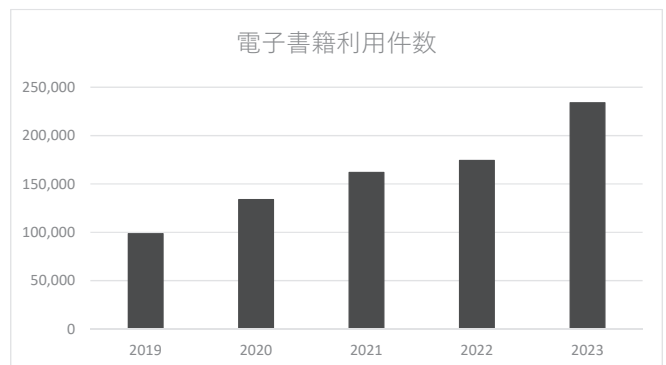


図3-8.電子書籍利用件数

	2022 年度受入冊数	2023 年度貸出冊数	回転率
図書館に所蔵する図書	(2,374,636)	137,111	6%
図書館に新たに受け入れた図書	9,139	8,721	95%
学生希望図書	258	514	247%

電子書籍利用件数

	2019	2020	2021	2022	2023
利用件数	98,546	133,946	162,009	174,350	234,141

2-3. 図書館資料の効果的利用

2-3-1. 図書館業務システム

図書館業務は大幅に電算化されている。1972年4月に電算機による業務の一部機械化が開始されて以降、1976年に逐次刊行物処理、1983年9月に図書所蔵情報のオンライン検索サービス開始、1985年に貸出返却、1987年4月にNACSIS-CATへの接続をおこない、1991年には図書館パッケージシステムを導入した。NACSIS-ILL開始（1994年4月）、蔵書目録(OPAC)のインターネット公開（1995年10月）に続き、ウェブサイトの公開（1996年8月）、各種申込機能等のウェブ化（貸出図書の状況照会・図書予約申込みを1999年5月開始、各種申込機能等を「Webリクエスト」の総称で2003年11月開始）、自動貸出機の設置（2004年4月）、広島大学学術情報リポジトリの公開（2006年10月）をおこなった。また、2000年から貴重資料のデジタル化を開始し、中国五県土地租税資料、奈良絵本をはじめとするデジタルコレクションを作成してきた。2022年3月にはデジタルアーカイブのIIIF対応を実施した。

1972年4月	電算機による業務機械化開始
1979年8月	学術文献情報検索サービス（HUNDRED）開始
1980年10月	図書館業務システムを自主開発
1987年4月	学術情報センター（現国立情報学研究所）と接続、目録登録開始
1991年2月	図書館専用電子計算機稼働。図書館専用パッケージソフト導入 （日立 HITAC-M640/30E）
1995年3月	附属図書館専用電子計算機更新（日立 HITAC-M640/45E）
1999年3月	更新（日立 LOOKS21/U）
2003年3月	更新（丸善 CALIS）
2008年9月	更新（丸善 CALIS）
2013年9月	更新（富士通 iLiswave-J）
2018年9月	更新（富士通 iLiswave-j）

図書館はウェブサイトから様々なシステムを提供しており、利用者は自宅などからこれらの機能を24時間いつでも利用することができる。それぞれの利用状況は次の通り。

	2021年度	2022年度	2023年度
蔵書目録検索回数	1,529,471	1,796,439	1,922,538
「利用状況・貸出更新」の利用回数	56,202	50,069	50,588
ウェブからの貸出更新利用回数	21,099	19,675	19,643
ウェブからの貸出更新冊数	44,232	38,904	37,783
「文献複写申込」「図書借用申込」利用回数	5,843	4,473	3,245
「新規購入依頼」利用回数	732	552	400
「ブックマーク」利用回数	8,665	7,985	7,638
「お気に入り検索」利用回数	181	173	161
「レビュー履歴」利用回数	473	188	199
「タグ履歴」利用回数	111	108	88

自動貸出機		設置 台数	貸出冊数		
			2021	2022	2023
東 広 島	中央	3	49,145	53,278	46,514
	東	1	359	443	382
	西	2	29,039	31,049	27,842
広 島	霞	1	5,104	8,552	6,919
	東千田	1	2,280	4,104	6,728
計		8	97,426	85,927	88,385

2-3-2. 蔵書目録と遡及入力

図書館資料が効果的に利用できるように、図書館では蔵書目録（OPAC）のデータ整備を進めている。2023年度末現在で遡及入力（これまでに受け入れた資料のデータ入力）の進捗状況は82%であり、図書館に所蔵する特別資料等（約32,000冊）、研究室等に所蔵されている資料の半数以上（約600,000冊）の約63万冊が未入力となっている。

2023年度の遡及入力冊数は次の通り。

		計	和	洋
東 広 島	中央	12,026	6,505	5,512
	東	309	147	162
	西	111	30	81
広 島	霞	375	69	306
	東千田	240	211	29
計		13,061	6,962	6,099

2-3-3. 学内の他の図書館の利用

学内の他の図書館に所蔵している資料や資料の複写物を最寄りの図書館に取り寄せることができる。また、借りた本は学内のどの図書館でも返却することができる。このために5館の間を結ぶ連絡便を運行している。広島（霞キャンパス・東千田キャンパス）・東広島キャンパス間は週3日、東広島キャンパス内は週5日運行しており、2023年度の運搬冊数は図書25,178冊であった。これに購入手続き等が完了した後の研究室等への配送冊数(※1)、受入手続き後の雑誌の各館・研究室等への配送冊数(※2)をあわせると約3.4万冊の資料が移動した計算になる。

※1. 年間購入冊数(2023年度は8,777冊)－図書館購入冊数(6,796冊)＝1,981冊

※2. 2023年度の雑誌受入種類数＝3,582種類のうち、中央図書館以外の図書館に配置しているものが1,182点あり、雑誌の刊行頻度を仮に隔月刊(実際は年刊～週刊)とすれば、 $1,182 \times 6 = 7,092$ 点となる。

他館返却 (2023年度)		到着館					合計
		中央	東	西	霞	東千田	
発 送 館	中央		129	9,870	162	544	10,705
	東	142		423	11	9	585
	西	3,288	54		58	165	3,655
	霞	340	1	446		141	928
	東千田	1,218	7	614	86		1,925
合計		4,988	191	11,353	317	859	17,708

予約・取寄配送 (2023年度)		到着館					合計
		中央	東	西	霞	東千田	
発送館	中央		0	0	393	919	1,312
	東	0		4	3	6	13
	西	0	0		495	566	1,061
	霞	209	0	73		73	355
	東千田	543	0	121	107		771
合計		752	0	198	998	1,564	3,512

研究室図書の貸借 (2023年度)		依頼館 (到着館)					合計
		中央	東	西	霞	東千田	
受付館 (発送館)	中央		0	0	5	12	17
	東	0		0	0	0	0
	西	0	0		0	3	3
	霞	0	0	1		0	1
	東千田	5	0	2	0		7
合計		5	0	3	5	15	28

	中央	東	西	霞	東千田	合計
図書館配置図書の配送冊数	4,632	18	2,038	808	1,038	8,534

※図書館配置図書は中央図書館で目録を作成した後に各館に配送する。

図書館間配送冊数 合計 (2023年度)		到着館					合計
		中央	東	西	霞	東千田	
発送館	中央		147	11,908	1,368	2,518	15,941
	東	142		427	14	15	598
	西	3,288	54		554	736	4,632
	霞	554	1	520		214	1,289
	東千田	1,778	7	740	193		2,718
合計		5,762	209	13,595	2,129	3,483	25,178

※「他館返却」+「予約・取寄配送」+「研究室図書の貸借」×2(往復)+「受入冊数」
(中央図書館を除く)

	2021 年度	2022 年度	2023 年度
他館返却	21,136	17,972	17,708
予約・取寄配送	5,138	3,887	3,512
研究室図書 of 貸借	74	50	28
図書館配置図書 of 配送	4,383	3,854	8,534
計	30,805	25,813	25,178

2-3-4. 他大学の図書館の利用

広島大学図書館に所蔵していない資料を他大学等の図書館から取り寄せることや資料の文献複写を依頼することができる。2023 年度の利用件数は次の通り。また 2021 年 12 月より霞図書館で開始した文献複写の IC カード、スマホ等のキャッシュレス決済について、2023 年 4 月より東千田図書館でも利用が可能となった。

また、2024 年 1 月に世界で 600 機関が参画している国際的な相互貸借システム RapidILL を導入した。

図書・雑誌の 貸借（冊数） 2023 年度		国内				海外		小計	
		大学図書館		その他		貸出	借受	貸出	借受
		貸出	借受	貸出	借受				
東 広 島	中央	767	470	61	39	3	3	831	512
	東	0	0	0	0	0	0	0	0
	西	144	98	34	6	0	0	178	104
広 島	霞	40	20	9	0	0	0	49	20
	東千田	30	48	3	5	0	0	33	53
計		981	636	107	50	3	3	1,091	689

文献複写 （件数） 2023 年度		国内				海外		小計	
		大学図書館		その他		受付	依頼	受付	依頼
		受付	依頼	受付	依頼				
東 広 島	中央	1,329	1,023	79	167	45	81	1,453	1,271
	東	-	-	-	-	-	-	-	-
	西	77	-	7	-	-	-	84	-
広 島	霞	456	428	93	42	0	0	549	470
	東千田	77	109	0	1	0	0	77	110
計		1,939	1,560	179	210	45	81	2,163	1,851

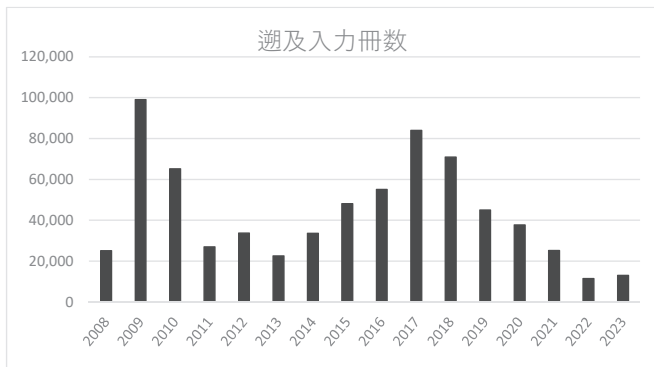


図4-1.遡及入力冊数

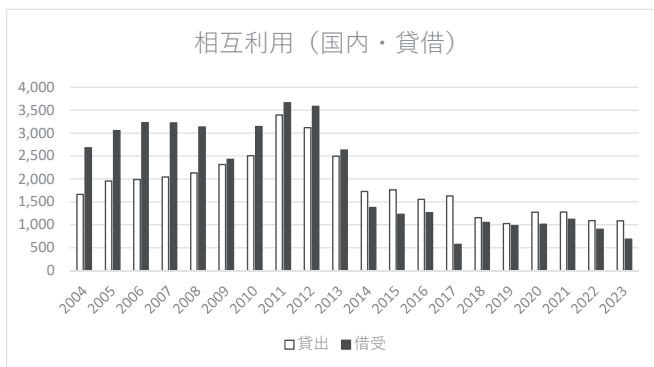


図4-2.現物貸借 (国内)

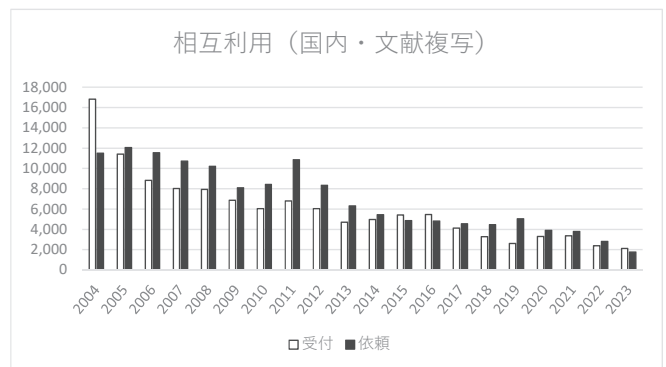


図4-3.文献複写 (国内)

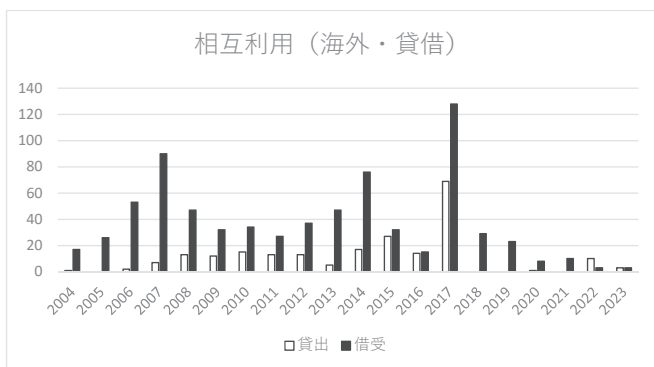


図4-4.現物貸借 (海外)

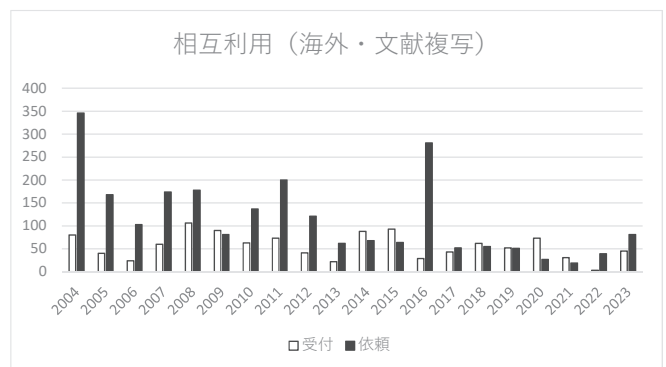


図4-5.文献複写 (海外)

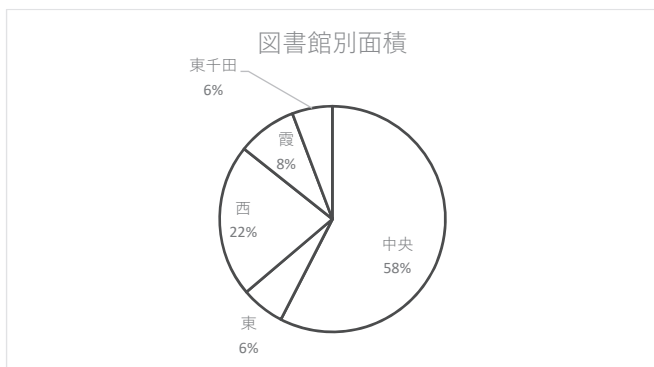


図4-6.図書館別面積

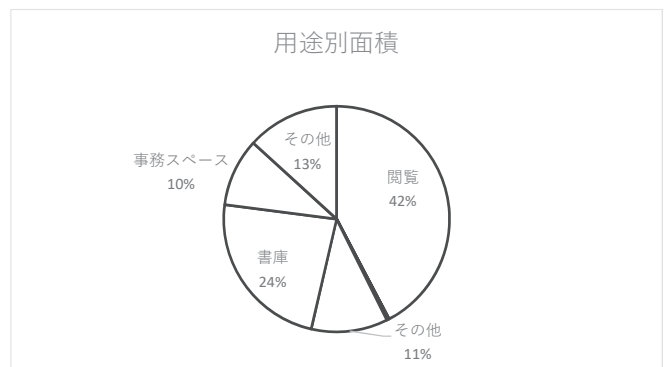


図4-7.図書館・用途別面積

2-3-5. 公共図書館との相互利用

広島県立図書館・広島市立図書館・東広島市立図書館と相互利用をおこなっている（東広島市立図書館への貸出は行っていない）。

	貸出	借用
広島県立図書館	46	91
広島市立図書館	77	89
東広島市立図書館	-	1,402
計	123	1,582

2-3-6. 図書館ウェブサイト

図書館では、1996年8月にウェブサイトを公開し、図書館に関する様々な情報を発信している。ロボット等のアクセスが多いため、ウェブサイトのアクセス統計は作成していない。

2-4. 図書館施設の整備

2023年度末現在の図書館施設は次の通り。5館あわせて27,892㎡のうち、閲覧等の利用のためのスペースが53%、書庫が23%を占めており、事務室及び機械室等のスペースが23%を占めている。総座席数は2,378席である。コロナ禍には、利用座席数の制限を行っていたが、2023年5月8日に感染症法上の分類が2類から5類へ移行したことに伴い座席数を元に戻した。

		総延面積	サービス・スペース				管理スペース		その他
			閲覧	視聴覚	情報 端末	廊下 等	書庫	事務	
東 広 島	中央	16,053	6,304	2	0	1,544	4,416	2,215	1,572
	東	1,745	0	0	0	149	890	0	706
	西	6,102	2,752	0	73	993	886	237	1,161
広 島	霞	2,382	1,551	0	7	304	137	152	231
	東千田	1,610	1,195	5	10	66	202	111	21
計		27,892	11,802	7	90	3,056	6,531	2,715	3,691

2023.5.8～		閲覧座席数
東広島	中央	992
	東	29
	西	882
広島	霞	385
	東千田	90
計		2,378

書架使用率		棚数	使用棚数	空き棚数	書架使用率
東広島	中央	72,473	53,315	19,158	0.736
	自動書庫	-	-	-	(0.661)
	東	8,232	5,142	3,090	0.625
	西	20,932	16,360	4,572	0.782
広島	霞	4,002	2,462	1,540	0.615
	東千田	9,123	3,774	5,349	0.414
計		114,762	81,053	33,709	0.706

※空き棚数調査による。事務用書架等は含まない。自動書庫は管理システムから取得した。

図書館の資料収容冊数は約 234 万冊である。2023 年度に書架の空き棚数を調査したところ、書架の使用率は 71%であった。数字の上では余裕があるように見えるかもしれないが、図書収容可能冊数は計算上の値に過ぎない。実際は図書を分類順に並べる必要があり、図書が書架に均等に分布しているわけではないこと、蔵書の増加や研究室からの返却資料が全ての分類にわたって一様に分布しているわけではないことから、新たに追加する資料が特定の分類に集中した場合は、全館の配架状態を大幅に調整しなくてはならなくなることもあり、決して余裕があるわけではない。

図書館各館の竣工年などは次の通り。

- ・中央図書館 1992 年度竣工、1995 年度増築、2014 年度自動書庫運用開始
- ・東図書館 1982 年度竣工、2019 年度改修
- ・西図書館 1993 年度竣工、2019 年度改修
- ・霞図書館 1981 年度竣工、2019 年度改修
- ・東千田図書館 2000 年度竣工、2022 年度改修

各館に設置されているラーニングコモンズ (BIBLA) の面積・座席数は次の通り (BIBLA の座席数は各館の座席数の内数。ただし、東千田図書館のみ外数)。

- ・中央図書館 (2010 年度設置) BIBLA 752 m²・145 席 (スタディスペース 95 席・グループスペース 50 席)

- ・東図書館（2009年度設置・2020年度拡充） BIBLA East 149 m²・29席
- ・西図書館（2020年度設置） BIBLA West 249 m²・102席
- ・霞図書館（2013年度設置） BIBLA Kasumi 155 m²・53席
- ・東千田図書館（2016年度設置） BIBLA Senda 416 m²・145席（サイレントゾーン62席・アクティブゾーン83席）

また、閲覧個室、グループ閲覧室等の設置状況は次の通り。2023年より西図書館ではコロナ禍以降、換気設備の関係で、一部のグループ閲覧室を個室に転用した。

- ・中央図書館 閲覧個室26（内、教員閲覧室4）、グループ閲覧室9、ライブラリーホール1（126席）
- ・西図書館 個室12、グループ閲覧室4、語学自習室1（16席）

障害者差別解消法への対応として、館内のバリアフリー化を進めている。

バリアフリー対応		多目的トイレ	拡大読書機	車いす対応机	摘要
東 広 島	中央	○1F	○1F	○1F	対面朗読室1室
	東	○2F	-	-	
	西	○2F	○2F	-	
広 島	霞	○1F	-	-	
	東千田	-	○1F	-	

2023年度は次の整備をおこない、利用環境の改善につとめた。

- ・西図書館： 3F 閲覧室の冷房機交換工事・閲覧個室のクロス張替え

2-5. 図書館施設の活用

図書館の開館時間は次の通り。2023年度は、G7広島サミットの開催を受け、霞図書館、東千田図書館で臨時休館（5/18-5/22）を実施した。大雨による全館臨時休館（7/1、7/9）など気候条件による休館もあった。

開館時間		授業期間			休業期間		
		平日	土曜	日曜	平日	土曜	日曜
東 広 島	中央	8:30-22:00	10:00-20:00	10:00-20:00	8:30-17:00	閉館	閉館
	東	8:30-21:00	10:00-17:00	閉館	8:30-17:00	閉館	閉館
	西	8:30-21:00	10:00-17:00	閉館	8:30-17:00	閉館	閉館
広 島	霞	8:30-21:00	10:00-17:00	10:00-17:00	8:30-21:00	閉館	閉館
	東千田	8:30-22:00	13:00-19:00	13:00-19:00	8:30-21:00	13:00-19:00	閉館

※祝日及び年末年始（12/28-1/4）は休館（中央図書館は授業期・祝日を試行開館）

※霞図書館：成人の日及び2月の土日祝日は開館（10:00-17:00）

		年間開館日数	平日日数	土曜開館日数	休日開館日数	時間外開館時間数	年間開館時間	入館者数
東 広 島	中央	309	238	33	38	1,530	3,540	362,731
	東	268	238	30	0	822	2,885	22,816
	西	265	234	31	0	829	2,858	140,168
広 島	霞	305	235	34	36	3,585	5,509	109,839
	東千田	312	233	46	33	1,148	3,462	32,813
計		1459				7,914	18,254	668,367
平均		292				1,583	3,651	-

2023年度の中央図書館・西図書館の閲覧個室・グループ閲覧室、中央図書館のライブラリーホール、地域・国際交流プラザの利用は次の通り。なお西図書館は7月よりグループ閲覧室の運用を開始している。

	閲覧個室	グループ閲覧室
中央	延べ13,573人（26室）	485回延べ2,403人（9室）
西	延べ1,189人（12室）	15回延べ79人（4室）

	2019	2020	2021	2022	2023
中央・閲覧個室	17,936	10,231	13,684	14,565	13,573

	ライブラリーホール	地域・国際交流プラザ
中央	27回 述べ81日	4回 述べ53日

中央図書館には87万冊収容可能な自動書庫が設置されている。利用実績は次の通り。

	2021年度	2022年度	2023年度
利用者からの請求回数	1,450	1,219	1161
出庫冊数（事務用含む）	4,742	3,111	4293

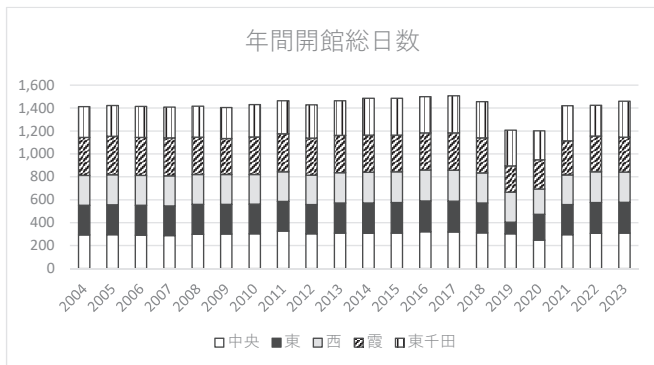


図5-1.年間開館総日数

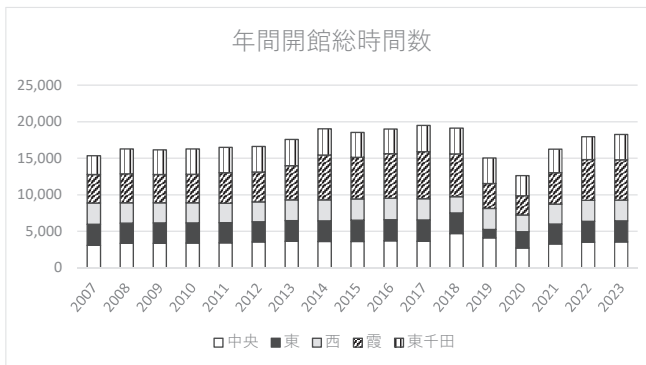


図5-2.年間開館総時間数

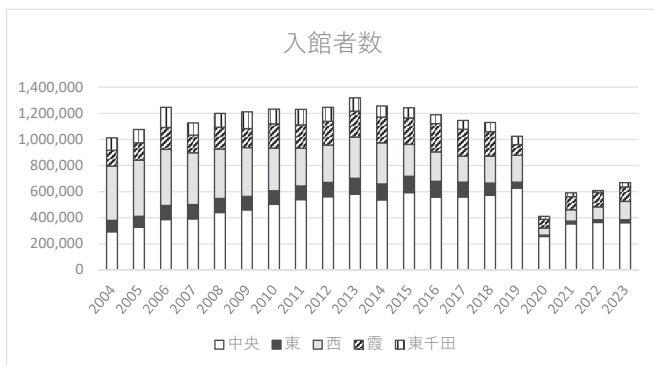


図5-3.入館者数

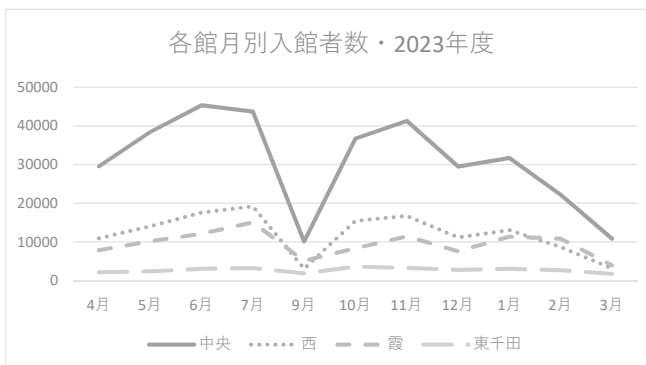


図5-4.各館の月別入館者数（中央・西・霞・東千田）

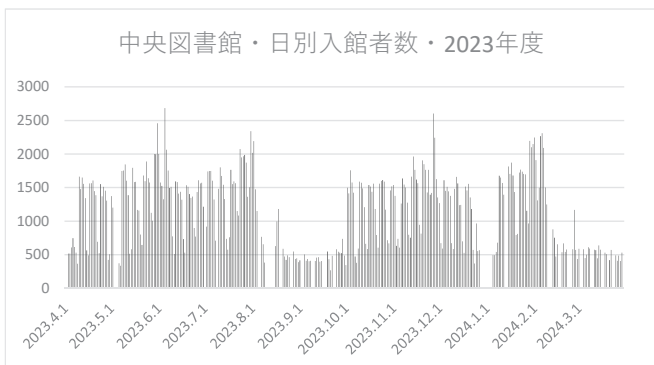


図5-5.中央図書館の日別入館者数

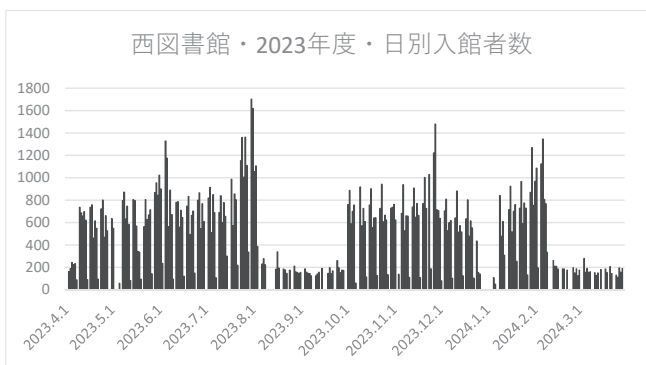


図5-6.西図書館の日別入館者数

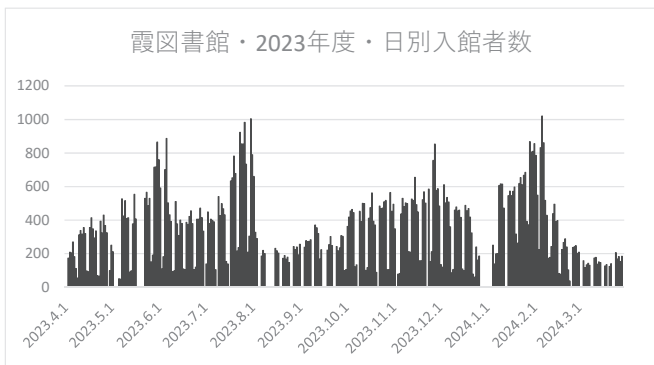


図5-7.霞図書館の日別入館者数

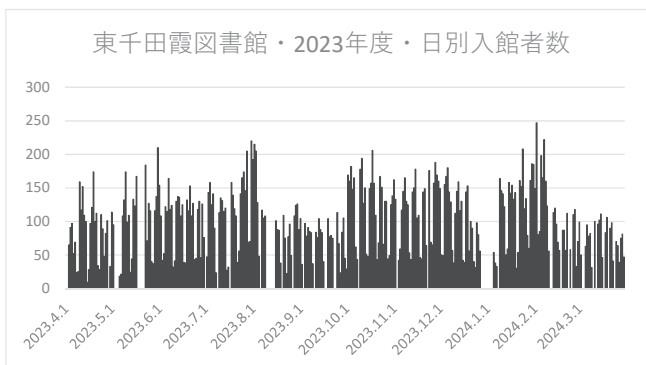


図5-8.東千田図書館の日別入館者数

2-6. 図書館の活用を促す取り組み

2-6-1. 図書館の利用方法等の案内（参考業務）

図書館では各館の窓口で図書館の利用方法等を案内している。各館の窓口で受けた質問数は次の通り。なお、東図書館と西図書館は参考業務を実施していない。

		合計	利用者別内訳			内容別内訳			
			学内者		学外者	文献所在調査	事項調査	利用指導	その他
			教職員	学生					
東 広 島	中央	2,008	414	1,334	260	1,239	203	567	0
	東		-	-	-	-	-	-	-
	西		-	-	-	-	-	-	-
広 島	霞	1,646	329	1,070	247	987	165	494	0
	東千田	912	166	518	228	548	92	272	0
計		4,566	909	2,922	735	2,774	460	1,333	0

2-6-2. 情報リテラシー教育

新入生に図書館の基本的な利用方法等を説明するため、図書館利用ガイダンスをおこなっている。また、様々なデータベース等の利用方法等を説明するため、各種講習会、出版社の講師を招いたセミナー等をおこなっている。2023年度の実施概要は次の通り。

また、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、留学生・院生・編入生向け図書館オリエンテーション動画、図書館ミニガイダンス動画を図書館ウェブサイトから公開した。

		図書館利用ガイダンス				文献検索ガイダンス		その他講習会		合計	
		新入生対象		新入生以外							
		回数	延参加者	回数	延参加者	回数	延参加者	回数	延参加者	回数	延参加者
東 広 島	中央	4	2,571	0	0	18	332	0	0	22	2,903
	東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
広 島	霞	3	59	0	0	3	71	0	0	6	130
	東千田	2	50	0	0	7	126	0	0	9	176
計		9	2,680	0	0	28	529	0	0	37	3,209

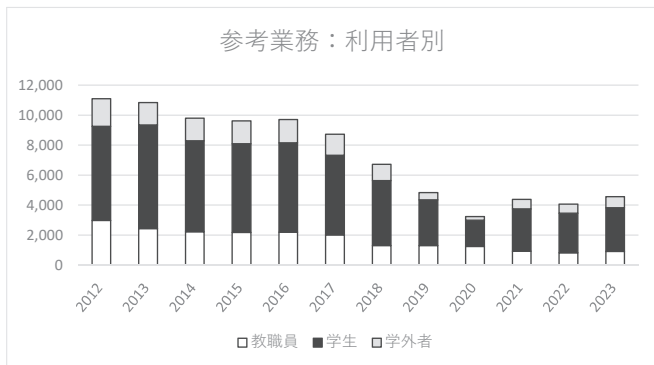


図6-1.参考業務（利用者別）

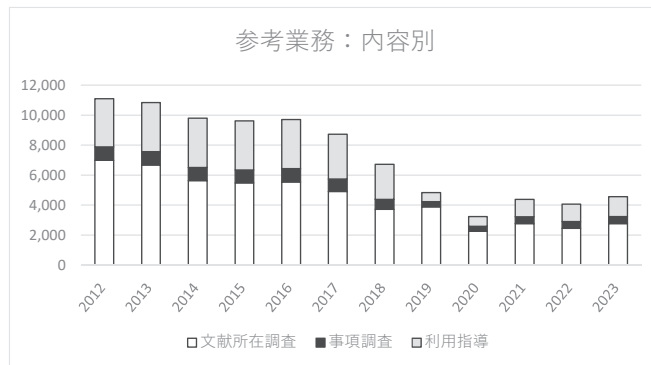


図6-2.参考業務（内容別）

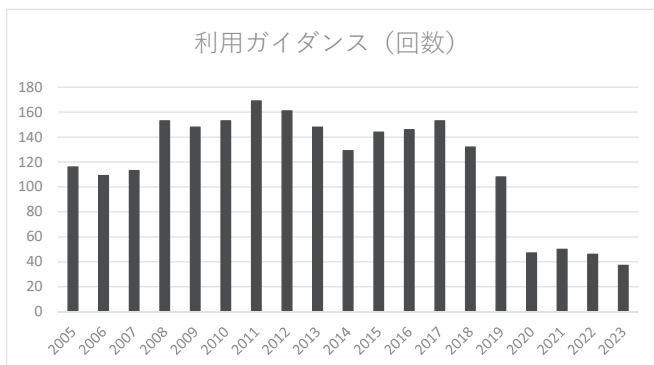


図6-3.利用ガイダンス（回数）

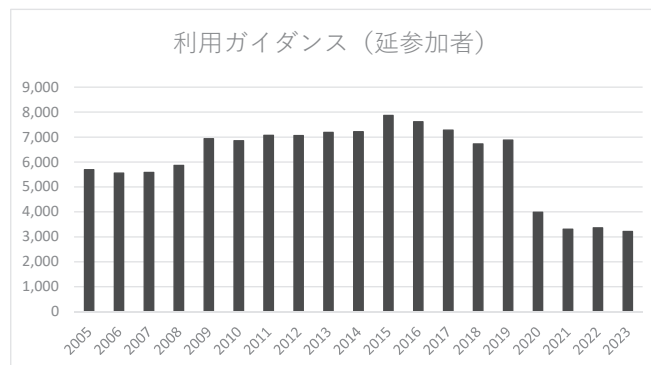


図6-4.利用ガイダンス（延参加者）

2-6-3. 広報

図書館から利用者への広報として図書館ウェブサイトと X(旧 Twitter)を運用している。以前は「図書館報」等を発行していたが、今は紙媒体の発行をとりやめている。Facebook は 2015 年 7 月から運用していたが、広報体制の見直しにより 2022 年 3 月 31 日で更新を停止した。

2023 年 9 月に新たに図書館のニュースレター「HU Library News」を創刊し、web および各図書館にて公開している。

図書館ウェブサイト (1996.8～) <https://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/?lang=japanese>

X(旧 Twitter) 2012.5～(継続) https://x.com/HiroshimaU_Lib

広報誌の変遷

「図書館だより」Vol.1(1972)～Vol.21(1995) → LIAISON に改題

「図書館報 LIAISON」Vol.22 No.1(1996.3)～Vol.36(2012.2)

「みんと：広島大学図書館広報誌」創刊号(2012年4月)～第20号(2018年10月)

「広島大学図書館メールマガジン」2007.1～2015.6(年4回)

「HiR ニュースレター」創刊号(2010.10)～第12号(2013.1)

facebook 2015.7～2022.3.31

「HU Library News」創刊号(2023年9月)～(月1回)

2-6-4. 企画展示

図書館の所蔵する多様な蔵書の利用を促進するため、様々な切り口で企画展示をおこなっている。2023 年度に各館でおこなった企画展示の内容は次の通り。

・中央図書館

- | | | |
|--------------|----------------------------|--------------|
| 2023 年 5 月 | G7 広島サミット開催記念展示 (各国編・お土産編) | 2023/05/17～ |
| 2023 年 6 月 | プライド月間 | 2023/06/09～ |
| 2023 年 7 月 | 伝統を身にまとう | 2023/7/12～ |
| 2023 年 8 月① | 平和とは | 2023/08/01 ～ |
| 2023 年 8 月② | 教育実習に向かう貴方へ | 2023/08/01～ |
| 2023 年 9 月① | 「仕事」と「スキル」 | 2023/09/01 ～ |
| 2023 年 9 月② | 資格 | 2023/09/01～ |
| 2023 年 10 月① | 秋を楽しむ♪ | 2023/10/06～ |
| 2023 年 10 月② | 広島大学特集 | 2023/10/02～ |
| 2023 年 10 月③ | ハロウィン | 2023/10/02 ～ |
| 2023 年 11 月 | 論文を書く | 2023/11/06～ |
| 2023 年 11 月② | こたつで読みたい本 冬の寒さに備えよう | 2023/11/21 ～ |

- 2023年12月 伝わる！プレゼンテーション特集 2023/12/01～
 2023年11月② こたつで読みたい本 冬の寒さに備えよう 2023/11/21～
 2024年2月① 新天地へ！ 2024/02/01～
 2024年2月② 外国語を学ぼう！ 2024/02/01～
 2024年3月① Key to the wide world 2024/03/01～
 2024年3月② ありがとう 2024/03/01～

・西図書館

- 第26回小展示「アンダー・ザ・シー～未知の世界へようこそ～」(7/3～)
 第27回小展示「あらゆることが学問になる～あなたを招らせる〇〇学～」(11/1～)

・霞図書館

- 第48回企画展示「ようこそ広島へ」 2023/4/7～
 第49回企画展示「夏休み 自由研究」2023/7/14～
 第50回企画展示「図書館バイトさんの推し本はこれ！」2023/9/29～
 第51回企画展示「研究活動応援フェア」2023/12/15～
 第52回企画展示「「食べる」を考える」2024/2/14～
 第53回企画展示「新生活スタート！」2024/3/27～

・東千田図書館

- 第12回企画展示「アカデミック・スキルを磨こう！」(6/6～)
 第13回企画展示「平和を謳（うた）う」(9/29～)
 第14回企画展示「汝自身を知れ」(7/31～)
 特別展示 「広島大学の歴史展 2023」(11/8～)

2-6-5. 語学学修支援

「日本語で聞く」「英語で聞く」「英語で話す」の3ステップで、英会話を習得するイベント「図書館でEnglish」を西図書館にて開始した。2023年度は4回実施した。

2-6-6. 学生協働 (HULS はるす)

HULS (Hiroshima University Library Supporter) は「図書館を人と人との架け橋に」をモットーに2015年度から活動している広島大学図書館の学生サポーターである。活動内容は、選書(図書館に置く本の選定)、小展示、オープンキャンパスイベント、ブックパーティィ(読書会)ほか、職員と協力して活動をおこなっている。2023年度の活動は次の通り。

- ・HULS 個人展示「物語で親しむ数学」(7/1～)
- ・全国大学ビブリオバトル 2023 地区予選 in 広大(11/4)

- ・特別企画 第13回 広大生が選んだ本（西図書館） 2023年12月
- ・展示：第50回 伝統を身にまとう 2023/07/12～

3. 研究支援

3-1. 電子的学術情報資料の整備

2021年3月12日の役員会で第4期中期目標期間（2022～2027年度）における「電子的学術情報資料の整備について」が承認された。また、「全学研究用」の資料の整備について、2020年9月に設置した広島大学電子ジャーナル等整備検討ワーキングで2022年2月までに9回にわたって議論をおこなった。

2022年度は、1月以降の急激な円安（1月平均1ドル116円→8月平均136円→10月平均148円）のため購読タイトルの見直しが急務となり、9月に全学教職員を対象としたアンケート調査を実施し、これに基づいて見直し案を作成した。その後、幸いにも特別な予算措置がなされ、2023年に向けては購読規模を維持することができた。

2023年は、2024年契約に向けて、6月図書館運営会議において、予算上限5.3億円を超えるジャーナルについて、利用単価を基準に購読中止の見直しを図る方針を確認した。その後、10月に学長判断によりAIP,APS、Springerについての予算措置と購読継続が決定した。

全学研究用の電子的学術情報資料は、次の区分に分けて整備している。

- A1) 全分野を網羅する主要学術出版社の電子ジャーナルパッケージ
- A2) 全分野を網羅する総合的な文献情報データベース、ポータルサイトなど
- A3) 人文科学、社会科学、理工学、生命科学の各分野共通に、特定部局を超えて広く利用される電子ジャーナルパッケージ、文献情報データベース及び全文データベースなど
- A4) その他、大学として必備であると判断したトップジャーナルなど

全学研究用・電子的学術情報資料

	区分		分野	パッケージ名など
1	EJ	A1	総合	Elsevier Sci.Direct
2	EJ	A1	総合	Oxford Univ.P.
3	EJ	A1	総合	SpringerLINK
4	EJ	A1	総合	Wiley Online Library
5	EJ	A3	化学	ACS (American Chemical Society)
6	EJ	A3	物理	AIP (American Institute of Physics)
7	EJ	A3	物理	APS (American Physical Society)
8	EJ	A3	科学	arXiv 学術論文プレプリントサービス支援料
9	EJ	A3	生命科学	Cell Press (Elsevier セル・プレス・コレクション)

10	EJ	A3	人文・社会科学	JSTOR Art&Sci. I-V
11	EJ	A3	数学・統計学	JSTOR Math.&Stat.
12	EJ	A3	医学	LWW Fixed 50
13	EJ	A3	生命科学	Nature 関連誌等
14	EJ	A3	理工	Nature 関連誌等
15	EJ	A3	数学	Project Euclid (Euclid PRIME)
16	EJ	A3	化学	RSC Journals (Royal Society of Chemistry)
17	EJ	A3	物理	SCOAP3
18	EJ	A3	生物	UniBio Press
19	EJ	A3	物理	日本物理学会欧文誌
20	EJ	A3	医学	メディカル・オンライン
21	EJ	A4	科学	Nature 本誌
22	EJ	A4	科学	Science
23	DB	A2	総合	Academic Search Complete(EBSCO)
24	DB	A2	総合	InCites Journal & Highly Cited Data
25	DB	A2	総合	Proquest Dissertations & Thesis
26	DB	A2	総合	SFX
27	DB	A2	総合	Web of Science
28	DB	A3	法律	Beck-Online
29	DB	A3	経済・経営	Business Source Complete & Econlit with Full Text
30	DB	A3	教育	ERIC
31	DB	A3	科学	JDreamIII
32	DB	A3	数学	MathSciNet
33	DB	A3	言語・文学	MLA International Bibliography
34	DB	A3	心理	PsycINFO & PsycARTICLES
35	DB	A3	化学	SciFinder-n
36	DB	A3	人文・社会科学	TOC Premier
37	DB	A3	医学	Medline
38		A3	経済・経営	Entrepreneurial Studies Source
39	DB	A3	法律	Westlaw Classic
40	DB	A3	医学	医中誌 Web
41	DB	A4	総合	CLOCKSS
42	DB	A1	総合	Scopus

なお、全学で導入している電子ジャーナル・データベース・電子書籍の利用可能タイトル数等は次の通り。

電子資料	電子ジャーナル（種類数）			電子書籍 タイトル数	データベース （種類数）
	出版社	その他	計		
国内	6	1,603	1,609	4,529	15
海外	7,353	15,917	23,270	5,560	24
計	7,359	17,520	24,879	10,089	39

3-2. 電子的学術情報資料の活用

電子ジャーナルの2023年の論文ダウンロード件数は1,854,316件、データベースの2023年の検索回数は780,730回だった。統計は、Total_Item_Requestsの統計を利用している。

データベースの検索結果等から電子ジャーナルのダウンロードページ等に自動的に案内するシステムとしてリンクリゾルバ（システム名はSFX）を導入している。データベースの検索結果表示画面等で「Find it Full Text @HU」ボタンを押すことで、文献の入手方法を提案する「中間窓」が表示され、そこに示された選択肢から適切な文献の入手方法を選択することができる。このシステムを活用することで、2023年度は123,969回の文献入手に関する問合せに対して自動的に対応したことになる。

	2018	2019	2020	2021	2022	2023
中間窓表示回数	384,810	236,628	118,487	110,364	112,907	123,969
文献入手方法選択回数	224,551	141,789	71,366	60,646	57,654	54,757

3-3. APC 支援と転換契約（試行）

2023年度より、オープンアクセスの促進、論文購読・論文出版のコストの最適化、研究成果の可視性の向上、本学の研究評価の向上を目的としてAPC支援と転換契約の試行を開始した。支援の在り方については、試行結果より最適化を行っていく。

3-3-1. APC (Article Processing Charge) 支援

2023年4月から学術論文をオープンアクセスで出版するために必要なAPC (Article Processing Charge) の助成を開始した。予算総額は3000万円で、Science Advances, Nature 姉妹誌のAPCは全額を助成、その他のQ1ジャーナルについては、36歳以上の研究者APCの30%を助成し、35歳以下の若手研究者APCの全額を助成することとした。2023年度は申請のあったうち、67件を採択した。内訳はScience Advances, Nature 姉妹誌が2件、その他のQ1ジャーナルが65件。

また、研究科別の助成件数は以下で、平均支払額は、463,048円、平均助成額 241,251円であった。

	35 歳以下	36 歳以上	合計
先進理工系科学研究科	7	12	19
医系科学研究科	6	13	19
統合生命科学研究科	2	10	12
宇宙科学センター	1	0	1
IDEC 国際連携機構	0	6	6
原爆放射線医科学研究所	0	3	3
人間社会科学研究所	0	3	3
病院	0	2	2
保健管理センター	0	2	2
合計	16	51	67

3-3-2. 転換契約

2024年1月から、Springer 社（2年契約）、Wiley 社（1年契約）の転換契約に係る APC 助成を開始した。APC は大学が全額負担（上限数あり）Springer（上限146）、Wiley（上限117）で、上限数を超えた場合は研究者負担となる。2024年1月～2024年3月までの実績は、Springer社が48件、Wiley社が22件の計70件であった。

3-4. 学術情報リポジトリ <https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/ja>

大学の教育研究成果を広く公開するため、学術情報リポジトリを 2006 年 10 月 6 日に正式公開した。2013 年度以降、博士論文のインターネット公表が義務化されたことに伴い、学術情報リポジトリに収録することになった。2017 年度には広島大学オープンアクセス方針を策定している。2023 年度末現在の収録数及び 2023 年度の増加数は次の通り。紀要論文が全体のほぼ 2/3 を占めている。

なお、2014 年 10 月にシステムを更新したこと、更新に際して教育研究成果物に特化するため、特殊コレクション類を除外したことにより登録数が大きく減少した。また、ロボットによるダウンロード数を除去したため、ダウンロード回数も大きく減少した。

収録数	計	学術雑誌 論文	学位論 文	紀要論文	会議発表 論文	会議発表 資料	会議 録	図書
累計	37,120	6,905	4,139	22,631	380	409	1	278
増加数	1,358	71	333	-286	24	-5	1	-67

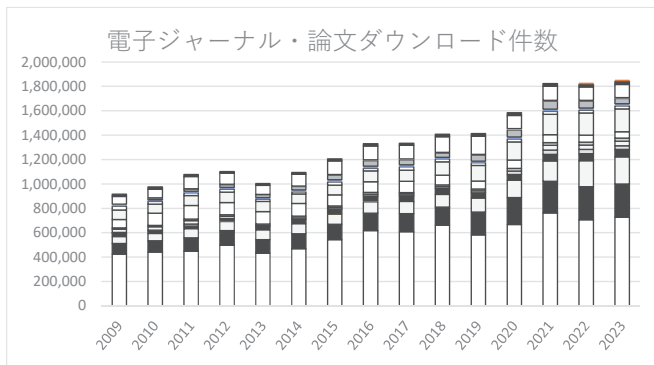


図7-1.電子ジャーナル・論文ダウンロード件数

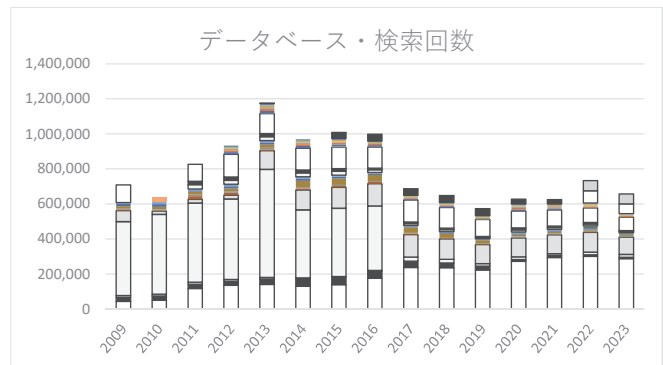


図7-2.データベース・検索回数

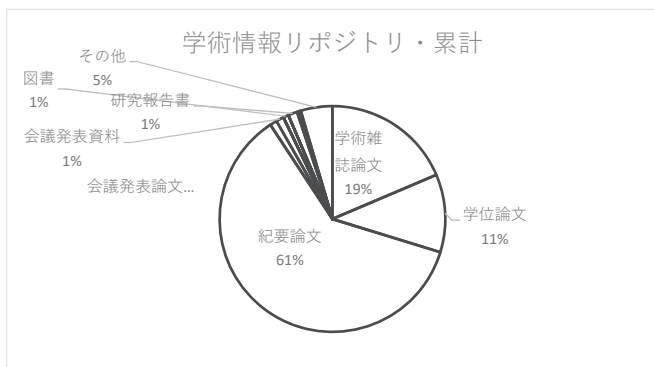


図7-3.学術情報リポジトリ 累計収録数

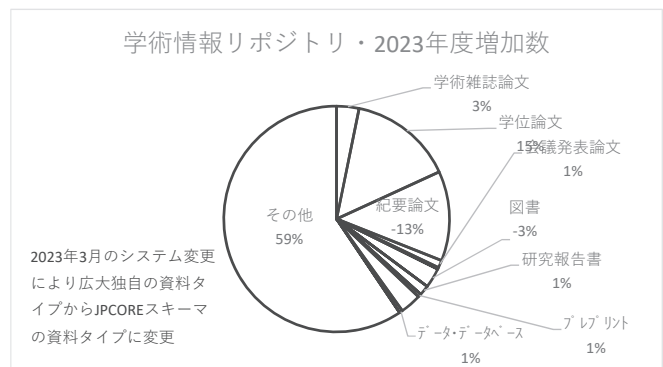


図7-4.学術情報リポジトリ 増加数

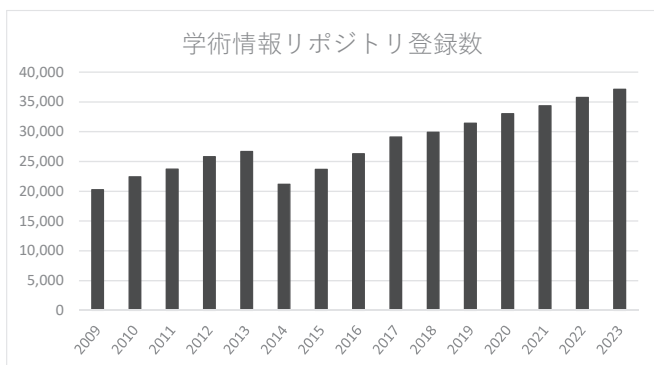


図7-5.学術情報リポジトリ 登録累計数

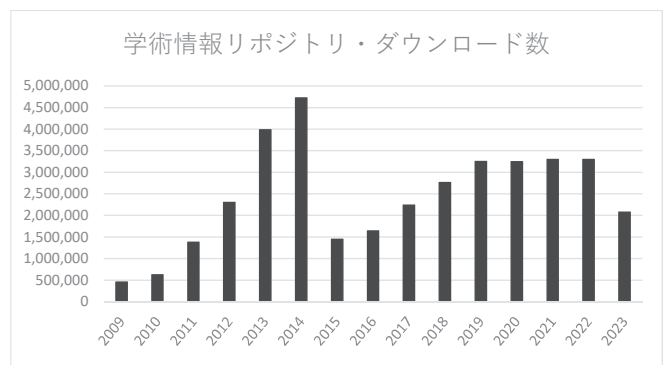


図7-6.学術情報リポジトリ ダウンロード回数

収録数	テクニカル ポ ー ト	研究報 告書	一般雑 誌記事	プ レ プ リ ン ト	教材	デ ー タ ・ デ ー タ ベ ー ス	ソフトウェア	その他
累計	3	489	129	0	21	42	0	1,690
増加数	0	32	0	-11	-67	10	0	1,323

*2023年3月のシステム変更により広大独自の資料タイプから JPCORE スキーマの資料タイプに変更したため、件数の内訳が大きく変わっている。

3-5. 広島大学出版会 <https://www.hiroshima-u.ac.jp/press>

広島大学出版会は、本学における教育研究の成果の社会に対する普及を図るとともに、これをわかりやすい形に変えて社会に提供することにより、学術文化の振興に寄与することを目的に、学術書・教科書・教養書等を刊行している。

既刊44冊。最寄りの書店（地方・小出版流通センター扱い）、Amazon、広島大学消費生活協同組合でも取り扱っている。また、一部の書籍は Maruzen eBook Library, KinoDen で利用できる。

	2016	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
刊行点数	4	1	1	1	2	7	4	2

3-6. ライティングセンター (WRC) <https://www.hiroshima-u.ac.jp/wrc>

ライティングセンターは、学部生から大学院生・教員まで、段階に応じたアカデミックライティングスキルの向上を支援することにより、本学の教育・研究の総合的な機能強化を実現するために中央図書館1Fに設置されている。2023年度はオンラインでライティング指導をおこなったほか、多様なワークショップをおこなっている。なお、2022年度まで実施していた学内発行雑誌の英文抄録校正費への助成制度は、2023年度より廃止した。

3-6-1. ライティング相談

大学院生のライティングチューターが日本語と英語の学術文章（レポートや授業課題、卒業論文、修士論文、博士論文等）を作成するための相談に応じている。

	2018	2019	2020	2021	2022	2023
件数	1,041	545	85	124	177	318

3-6-2. 研究力強化に資する英文校正費一部助成制度

原則として Web of Science Core Collection, Scopus に収録されているジャーナル等への投稿済英語論文の英文校正費を半額助成（上限3万円）している。

	2018	2019	2020	2021	2022	2023
件数	310	427	573	564	495	424
総額	6,015,018	7,903,966	11,174,855	10,996,567	10,490,392	8,960,518
(平均)	19,403	18,510	19,502	19,497	21,193	21,133

3-6-3. 英語論文作成相談

ライティングセンター専任教員と、ライティング・アドバイザー・フェローが、英語学術論文や学会抄録を作成するための相談に応じている。

	2018	2019	2020	2021	2022	2023
件数	182	437	482	419	431	339

3-6-4. セミナー・ワークショップ

様々なテーマでセミナー・ワークショップをおこなっている。

	2020	2021	2022	2023
延参加者数	670	547	1,155	266

セミナー・ワークショップの内容 (2023年度)	視聴数	参加者数
研究力分析ツール SciVal 講習会		5
エルゼビア「出版倫理セミナー」		44
マレーシアパハン大学合同オンラインウェビナー「Empowering learners worldwide」(全5回)		30程度
「科学的な論文」の書き方ーその社会的・思想的背景を交えて		65
ハイブリッド方式で論文執筆時間を半分に！ AI ツールとエキスパットの活用方法を学ぶ		89
学術的な読み書きのリテラシーを育成するー自己習アプローチ(全5回)		7
マレーシアパハン大学合同ワークショップ「UNITYINK」(全2回)		10
短時間で研究紹介するコツー国際学会ネットワークを広げようー	103	16

* 視聴数は 2024.6.26 現在

3-6-5. エルゼビア・トップジャーナルエディターワークショップ

2023年度からエルゼビア・ジャパンとの包括的な契約に基づき、今年度採択された「地域中核・特色ある研究大学強化促進事業(J-PEAKS)」の重点研究分野に関連するジャーナルを2誌選定し、エディターのプレゼンの他、本学の若手研究者への個別指導を実施した。

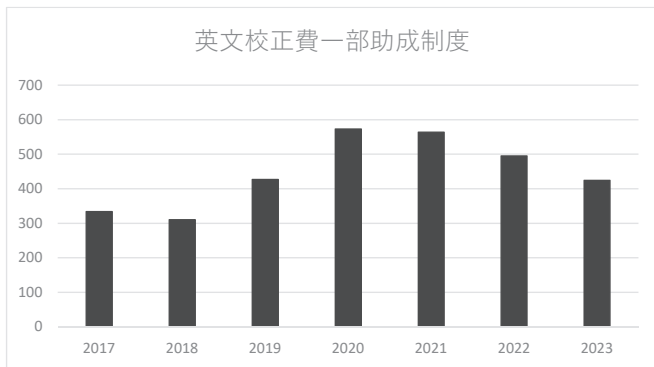


図8-1.ライティングセンター 英文校正費一部助成制度

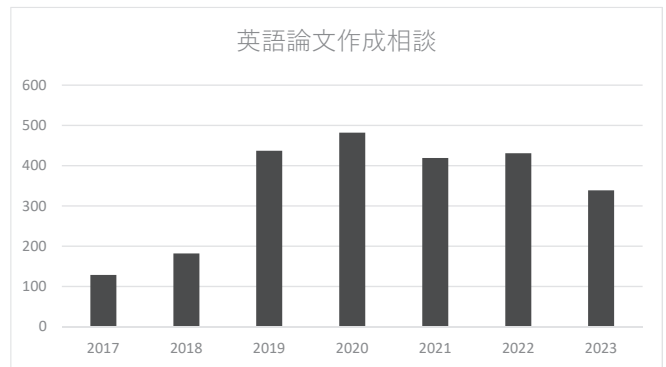


図8-2.英語論文作成相談

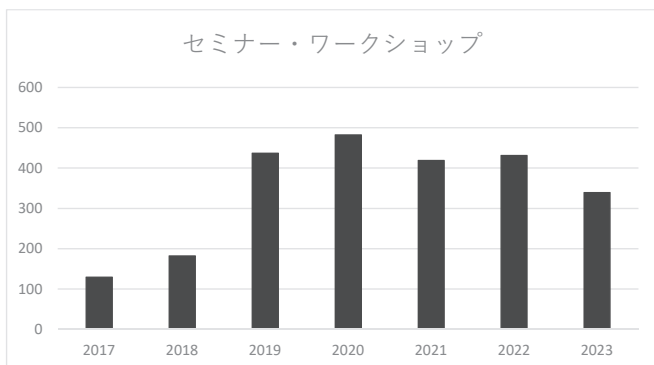


図8-3.セミナー・ワークショップ参加人数

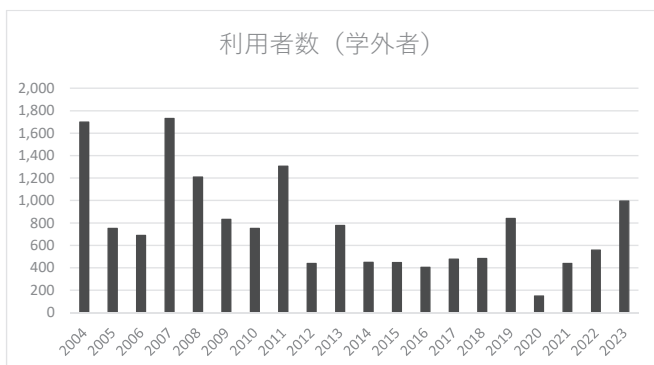


図8-4.利用者数 (学外者)



図8-5.貸出冊数 (学外者)

セミナー・ワークショップの内容 (2023 年度)	オンライ ン	参加 者数
「エルゼビア『Device』オンラインワークショップ」	20	-
エルゼビア「トップジャーナル『Matter』ワークショップ」	8	10

4. 社会貢献

4-1. 学外者の利用

2023 年度の学外者の利用登録者数は 994 名、貸出冊数は 4,958 冊であった。

	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
利用登録者数	477	483	839	148	439	558	994
貸出冊数	13,569	12,221	10,765	2,870	4,958	6,651	8,493

4-2. デジタルアーカイブ

貴重資料の保存と利用を両立するためデジタルアーカイブを構築し公開している。主な資料は次の通り。なお、利用統計はウェブサイトの利用統計と同様の理由により、一部を除き取得していない。中国五県土地・租税資料文庫の利用統計は 2022 年度から取得していない。

デジタルアーカイブの利用	2019	2020	2021	2022	2023
教科書コレクション	211,614	2,131,913	1,294,323	68,774	93,435
原爆被爆関連資料 DB	29,126	14,749	9,231	52,579	32,242
中国五県土地・租税資料文庫	8,402	1,483	933	-	-

- ・ 広島大学図書館デジタルアーカイブ <https://dc.lib.hiroshima-u.ac.jp/da/ja>
国際規格 IIIF に対応したデジタルアーカイブ。

- ・ 教科書コレクション

広島大学図書館に所蔵されている教科書の中から、江戸時代の寺子屋で使用された「往来物」から 1951（昭和 26）年までのものを画像化して公開している。約 5,600 冊を収録。

- ・ 原爆被ばく関連資料データベース

広島大学原爆放射線医科学研究所が所蔵する原爆・被ばくに関する次の資料を電子化している。米国陸軍病理学研究所(AFIP)が収集した病理学写真等、広島大学原爆放射線医科学研究所附属国際放射線情報センターが所蔵する原爆・被ばく関連の図書・雑誌の書誌情報、

原爆被爆物理試料データ、米国及び旧ソ連核実験実施記録データ。

・中国五県土地・租税資料文庫（広島県分）

広島大学図書館で収蔵する「中国五県土地・租税資料文庫」の中から広島県関連の資料を電子化して公開している。

4-3. 地域・国際交流プラザ（中央図書館）

中央図書館 1F に 1)広島大学の活動及び歴史の紹介、広報、2)広島大学との交流を目的とした生涯学習活動等の発表の場として、地域・国際交流プラザを設置している。2023 年度は次の展示をおこなった。

- ・展示名：ようこそ、広島へ 主催：広島大学図書館（7/19～7/31）
- ・展示名：あの日（オブジェ） 主催：広島大学文書館 共催：広島大学図書館（8/4～8/7）
- ・展示名：広島大学の歴史展 2023 共催：広島大学図書館・広島大学文書館（11/8～11/29）
- ・ポスター展示「ヨコエビの系統分類学的研究とその成果の書籍化」
主催：広島大学図書館（1/18～1/31）

	2017	2018	2019	2020	2021	2022	2023
展示回数	7	11	12	0	2	6	4

4-4. 講演会

地域貢献事業の一環として令和 4 年度広島市立図書館・広島大学図書館連携講演会を 2024 年 2 月 18 日に開催した。

講師：有馬 卓也先生（人間社会科学研究科）

演題：「古代中国の呪術」

4-5. サイエンスカフェ

広島大学出版会刊行の「ヨコエビはなぜ『横』になるのか」（富川 光著）をテーマとする第 36 回サイエンスカフェを理学部と共催した。

【話し手】 富川 光(広島大学大学院人間社会科学研究科 教授)

【聞き手】 寺本 紫織

4-6. その他

- ・中学生・特別支援学校生の職場体験の受け入れを実施した。 計 3 回 9 名
- ・全国大学ビブリオバトル 2022 地区予選 in 広大をおこなった(11/4)。
- ・【WEB 版】企画「ガチャ本～未知なる本に出会うくじ～」開催（1/15-1/31）

5. 管理運営等

5-1. 組織運営

図書館運営会議で図書館に係る次の事項を審議している。

- (1) 管理運営の基本方針に関すること
- (2) 事業計画に関すること
- (3) 学術情報資料の選定及び整備に係る方針に関すること
- (4) その他図書館の運営に関すること

また、本学に必要な学術情報資料の選定をおこなうため、図書館運営会議に次の部会を設置している。

- (1) 人文・社会科学系専門部会
- (2) 教育科学系専門部会
- (3) 自然科学系専門部会
- (4) 生命科学系専門部会
- (5) 資料選定事務部会

図書館に係る日常業務は図書館部図書学術情報企画グループ及び図書学術情報普及グループで対応し、各担当だけでは対応できない業務に対して7つのWGを設置している。判断を要する事項はGL打合せ（週1回開催）、館長打合せ（週1回開催）で協議し、必要に応じて理事打合せ（不定期）をおこなうことで情報共有を図っている。また、図書館部内の情報共有を図るため、各グループ内の打合せ（週1回開催）や主査打合せ（月1回開催）をおこなっている。

5-2 図書館運営会議

2023年度の図書館運営会議の議事は次の通り。

・令和5年度第1回図書館運営会議 2023年6月29日

- 協議事項
1. 令和4年度決算案について
 2. 令和5年度予算案について
 3. 電子的学術情報資料の見直しについて
 4. その他

- 報告事項
1. 令和5年度計画について
 2. その他

・令和5年度第2回図書館運営会議（メール会議）2023年10月11日～10月23日

- 協議事項
1. 西図書館の開館時間変更（試行）案について

・令和5年度第3回図書館運営会議 2024年3月22日

- 協議事項
1. 規則改正等

- 1-1.「広島大学図書館規則」の改正
- 1-2.「広島大学図書館資料選定要領」の改正
- 1-3.「広島大学図書館運営会議専門部会の委員選出要領」の制定
2. 2025 年に向けた電子的学術情報資料の見直し
3. 学生用電子資料
 - 3-1.学生用電子資料の選定方針
 - 3-2.Japan Knowledge の購読条件見直し
 - 3-3.2024 年度に購読する学生用電子資料
4. 令和 6 年度教育用図書購入費配分
5. 図書館の整備
 - 5-1.令和 6 年度以降の東図書館の整備
 - 5-2.令和 6 年度以降の西図書館の整備
6. その他

- 報告事項
1. 令和 5 年度部局等における年度計画の実施状況
 2. 令和 5 年度の図書館活動
 3. 令和 6 年度図書館開館予定等
 4. オープンアクセス加速化事業
 5. 図書館に係る自己点検・評価の実施、評価結果並びに改善事項の対応計画及びその進捗状況（機関別認証評価提出資料）
 6. 年次報告の作成
 7. APC 助成の実施・実績報告（転換契約を含む）
 8. 国際的な文献提供システム RapidILL の導入・実績報告
 9. 中央図書館・閲覧個室の運用変更
 10. 視覚障害者等が利用できるアクセシブルな資料の提供
 11. その他料

5-3. 予算決算

2023 年度予算決算は別表の通り。運営費交付金の減額に伴い各科目・事業の予算とも減額されており、厳しい状況が続いている。運営費では、備品費・消耗品費・その他の経費を節約することで、施設保守費、委託費（蔵書点検、草刈など）を捻出する形となっている。

電子ジャーナル等経費は図書館予算（執行額）の 78%を占めている。電子的学術情報資料（電子ジャーナル・データベース等の経費）の第 4 期中期目標期間の上限額が 5.3 億円とされたことから、継続的に価格が上昇している電子的学術情報資料の第 4 期中の大幅な見直しが不可避となっている。

2021 年 10 月 1 日から中央図書館 1F 新聞コーナーのネーミングライツを締結している。
 (JCS Lounge 株式会社日本クライメイトシステムズ・2021/10/1～2024/9/30)。

5-4. 広島大学図書館活動助成金

広島大学図書館活動助成金は、図書館の学術資料の整備や図書館の地域住民の方々へのサービスの一層の充実を図るため、2005年2月に創設された寄附金制度である。2017年度に本助成金の寄附の種類を見直し、図書館設備にも利用できるようになった。本学学生及び教職員の教育・研究を支援するとともに、学術資料の整備や地域住民の方々へのサービスを充実させ、地域社会の生涯学習ニーズに応えていきたい。

寄附金の状況、主な事業の実施状況は、毎年、実績報告書を作成し、ウェブサイトから公開している。https://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/?page_id=12042

2023 年度予算・決算

単位：千円

	科目・事業	当初 予算	追加 配分	予算 総額	執行額	残額	摘要	
資料費	教育用図書購入費	82,571	2,372	84,943	84,392	551		
	電子ジャーナル等経費	504,782	58,030	562,812	548,097	14,715		
	小計	587,353	60,402	647,755	632,489	15,265		
運営費等	図書館関係経費	19,632	882	20,514	20,276	239		
	備品	備品	750	0	750	167	583	
		消耗品	4,071	0	4,071	5,746	-1,675	
		施設保守費	4,916	0	4,916	5,703	-787	
		修繕費	3,200	0	3,200	1,260	1,941	
		委託費	1,901	0	1,901	2,383	-482	蔵書点検ほか
		清掃費	1,530	0	1,530	1,252	278	
		貸借料	2,000	0	2,000	1,610	390	複写機ほか
		その他	2,146	0	2,146	2,155	-9	
	広報関係経費	0	211	211	102	109	ネーミングライツ	
	教育研究設備費	20,736	2	20,738	20,736	2	図書館システム	
	自動書庫年間保守	5,324	2,699	8,023	8,014	10		
	カフェ運営委託業務	550	59	609	548	61	la la la café	
	リポジトリ事業	456	443	899	592	308		
出版会事業経費	965	3,290	4,255	1,845	2,410			
論文投稿支援経費	30,000	6,042	36,042	16,347	19,695	R5 新規事業		
小計	77,663	13,629	91,292	68,459	22,832			
寄附金	図書館活動助成金	0	3,385	3,385	270	3,115		
合計		665,016	77,415	742,431	701,219	41,213		

※百の位を四捨五入しているため、個々の数字の合計が一致しない場合がある。

5-5. 職員数

運営費交付金の減額等に伴い職員数は減少を続けている。2023年度の定員内職員数は40年前の半数以下となっている。図書館業務の電算化に1972年から取り組むなど、これまで業務効率化のために工夫を重ねてきたが、電子的学術情報資料の増加、アクティブラーニングスペースの整備、学術情報リポジトリの構築、情報リテラシー教育の推進、ライティング

センターの運営など業務内容は拡大しており、図書館利用者へのより細やかなサービスの提供や目録の遡及入力が進捗が遅延するなど課題となっている。

	1971	1981	1991	2001	2011	2021	2023
定員内	50	56	53	42	35	27	25
契約一般職員等	10	28	28	26.3	24	25.2	29.7

※契約一般職員等は、勤務時間数が多様であるため、年間実働時間の合計 1,500 時間を 1 人として換算（日本図書館協会の換算方式と同じ）

5-6. 施設設備

図書館には自動書庫・電動式集密書架・防犯カメラ・入退館システムなど、様々な施設・設備がある。これらの施設・設備は高額であるため、故障した場合に簡単に更新するというわけにもいかない。耐用年数や故障等の発生状況を適宜把握し、適切にメンテナンスしていくことで長期的な利用を図るとともに、計画的な更新計画を策定していく必要がある。

5-7. 他の図書館等との連携

- ・国立大学図書館協会：広島大学は国立大学図書館協会の理事館をつとめるとともに資料委員会電子資料小委員会に委員を 2 名、資料委員会オープンサイエンス小委員会タスクフォースに 1 名を選出している。
- ・国立大学図書館協会中国四国地区協会：広島大学は中国四国地区（加盟 10 館）の地区連絡館を担っている。
- ・中国四国地区大学図書館協議会：1953 年設立。中国四国地区の大学図書館等が加盟している（加盟 64 館）。広島大学は幹事館を担っている。
- ・広島県大学図書館協議会：1970 年設立。広島県下の大学・短期大学及び高等専門学校図書館を会員とする（加盟 24 館）。広島大学は代表幹事館を担っている。
- ・日本医学図書館協会：1927 年設立。国公立の医学・歯学・健康科学・生命科学領域の専門図書館を対象としており、霞図書館が入会している。
- ・法律図書館連絡会：1956 年設立。法律分野の各会員館が法律図書館としての機能をより充実・発展させることを目的として設置されており、東千田図書館が入会している。
- ・JUSTICE 運営委員会委員を 1 名、作業部会委員 1 名を選出している。
- ・JPCOAR 広報・普及作業部会委員を 2 名選出している。
- ・これからの学術情報システム構築検討委員会：システムワークフロー検討作業部会委員を 1 名選出している。
- ・広島県立図書館との間で相互利用を実施
- ・広島市立図書館との間で相互利用、連携講演会を実施
- ・東広島市立図書館との間で相互利用を実施

6. その他

6-1. 2023年度の主な動き

6-1-1. 新型コロナウイルス感染症の流行防止

2023年3月13日にマスクの着用が個人の判断となり、5月8日に感染症法上の分類が2類から5類へ移行したことに伴い、図書館サービスは概ね流行前の内容に戻った。

6-1-2. 東千田図書館のリニューアルオープン

2022年度中に改修工事を完了し、2023年4月3日にリニューアルオープンを行った。

○主なリニューアル箇所

- (1) 南側旧図書館エリアを1階全体へ広げるための全面的な改修 (685 m²→1,610 m²)
- (2) 中央図書館および社会科学研究科資料室より法学系の図書と雑誌の一部を移管
- (3) 集密書架・固定書架の購入により資料収容力の増加
- (4) ブラウジングコーナーで新着雑誌・新聞を気軽に読んでもらうことを想定し机を購入

○経過

- ・ 2022.7.8～8.6 特別貸出実施 (資料の長期貸出及び貸出冊数増加措置: 教職員 100 冊、その他の利用者 50 冊)
- ・ 2022.8.7～8.16 改修工事に伴う事務室移転や夏季休業につき休館
- ・ 2022.8.17～ 特別開館実施・図書館入り口を移転
 - ・ 開館時間 8.17～10.2 平日 8:30-16:30、土日祝 休館
 - 10.3～4.2 授業期・平日 8:30-22:00、
休業期・平日 8:30-21:00、土日祝 休館
- ・ 特別開館のサービス内容: 文献複写・図書借用の受け渡し、予約・他館からの取り寄せの受け渡し、資料のコピー、新着資料 (図書・雑誌) の閲覧・貸出、新聞の閲覧 (S 棟ロビー)
 - *特別開館期間中は閲覧席の利用不可
- ・ 2023.1.10 図書の閲覧・貸出を出納制で再開
- ・ 2023.4.3 リニューアルオープン

■東図書館・西図書館・霞図書館の改修の記録 (2019年度)

2018年度に開設された情報科学部及び総合科学部国際共創学科への対応のため、西図書館及び東図書館の機能見直しを2017年度より検討されてきた。

2017年度末には、西図書館3階に16席の語学自習室及び第2オープンスペースに50席程度のグループディスカッションやアクティブラーニングができるエリアの整備が行われた。

東図書館に隣接する情報科学部では、高価なアプリケーションや特別な情報処理環境が必要な授業等が実施されていることから、情報科学部の年次進行に伴い、隣接地区に100台程度の端末室が必要になること、授業が行える設備が不足すること、アクティブラーニングの授業に対応した学習環境を整備することなどが必要であった。そこで、2019年度の改修では、東・西図書館において図書館及び情報メディア教育研究センターの機能を再整備することにより、上記の課題解決を図ることとなった。

霞図書館は、1981年の開館以降、2013年には「BIBLA Kasumi」を設置し、ラーニングコモンズの整備を行ってきたが、多様化する学習環境に対応するため、ゾーニングの見直しにより提供資料数や自学自習スペースの確保を図ることとなった。

- ・東図書館 2019.8.8-2020.5 下旬 閉館
- ・西図書館 2019.7月及び2020年3-4月 閉館
- ・霞図書館 2019.8.8-2020.5.8 に工事をおこなった。休館は2019.8.8-2019.9.1, 2019.12.28-2020.2.9 だけで、その他の期間は部分開館をおこなった。

■東図書館改修コンセプト

1. 保存書庫機能の整備
2. 情報メディア機能の整備
3. グループワークスタジオの整備
4. アカデミックな交流拠点となる環境の整備

■西図書館改修コンセプト

1. 新学部・新学科設置に伴う学習環境の変化に対応した機能の整備
2. 東図書館の資料を一部移設し、教養課程用学習資料に加えて理工学系資料を整備
3. 映像音響設備を整備しグループ学習や講義に対応

■霞図書館改修コンセプト

1. 断熱材と空調機の改修による快適な学習空間の創出
2. 図書館スペースの見直しによる閲覧座席の増加
3. 集密書架の設置により収蔵力の大幅アップ
4. 24時間開館時も1階にある図書の利用が可能

6-1-3. 電子的学術情報資料整備（第4期中期目標期間：2022～2027年度）

雑誌価格の高騰、為替変動により、第4期中期目標期間の予算額の上限を5.3億を大きく上回っている。2023年は購読規模の縮小を検討したが、特別予算により規模の維持が可能

となった。2024年に向けた見直しを行った結果、図書館運営会議（2023.06.29）、役員懇談会、教育研究評議会、役員会（2023.10.24）により以下の方針を決定した。

- ・ 予算上限（第4期5.3億円）を上回った場合でもAIP, APS, Springerの購読を維持する
 - ・ 転換契約を試行導入する（Springerは2年契約、Wileyは1年契約）
 - ・ 2024年に休止する資料：Dissertation & Thesis, JDreamIII, PsycARTICLES
- 2025年契約に向けても、更なる規模縮小を検討する必要がある。

6-1-4. オープンサイエンスの推進

2023年5月に開催されたG7科学技術大臣会合及びG7広島サミットのコミュニケで、オープンサイエンスの推進が明記され、それを受け2024年2月に統合イノベーション戦略推進会議により「学術論文等の即時オープンアクセスの実現に向けた基本方針」が決定された。本学では、2023年11月に学長から「学術論文のオープンアクセス化を推進する」というメッセージが出され、2024年1月からSpringer Nature社とWiley社との転換契約を試行的に開始した。また若手研究者やトップジャーナルの投稿にかかる論文出版料（APC）を助成する取り組みも開始し、研究成果のオープンアクセス化を推進している。

2024年3月には、文部科学省による「オープンアクセス加速化事業」が公募され、申請に向けた検討を開始した。

6-2. 理念と目標

広島大学図書館は、広島大学の建学の精神、理念5原則の下に図書館の理念と目標を定め、その下により具体的な組織目標、国立大学図書館協会ビジョン2025を参考に作成した組織目標の重点領域・目標・行動計画を定めている。

○広島大学 建学の精神「自由で平和な一つの大学」

○理念 広島大学は理念5原則の下、国立大学としての使命を果たします。

- ・ 平和を希求する精神
- ・ 新たな知の創造
- ・ 豊かな人間性を培う教育
- ・ 地域社会・国際社会との共存
- ・ 絶えざる自己変革

○図書館の理念と目標（2006年3月 図書館長期ビジョン委員会）

・ 理念 Policies

広島大学図書館は、本学の建学の精神及び理念を実現するため、教育・研究を支援する基盤的組織として、図書・雑誌等の電子的資料を含む学術情報資源を収集・整理・保存し、学生及び教職員等の利用者に提供することを使命とする。

また、本学で生成される学術情報を国内外に発信することで、本学の教育・研究の進展に寄与し、その成果をとおして国内外、地域社会における学術研究の進展及び文化の振興に貢献する。

・目標 Goals

1. 利用し易い図書館を目指す。
2. 利用される図書館を目指す。
3. 学術情報の収集機能の一層の強化を図る。
4. 従来からの紙媒体による学術情報に加えて、電子ジャーナル等電子的学術情報を一層充実させ、ハイブリット・ライブラリを構築する。
5. 学生の自学自習活動のための快適でゆとりのある学習環境を提供する。
6. 電子的図書館機能の充実・強化を図る。
7. 学内で生成される研究成果情報を発信するポータル機能を担う。

○広島大学図書館の組織目標（2023年5月）

広島大学図書館は、大学の「学習センター」（学習／学修の場を提供する。予習・復習・課題の達成に必要な資料と支援を提供する）であり、「情報センター」（学生や教職員の情報ニーズに対応する。情報の収集・選択・活用・発信を支援する）である。

広島大学図書館は「利用される図書館を目指す」。

○組織目標の重点領域・目標・行動計画

重点領域1. 知の共有：蔵書を超えた＜知識や情報＞の共有

目標1-1. 教育研究成果等の発信

行動計画1-1-1. 機関リポジトリ等の収録コンテンツの充実

行動計画1-1-2. 広島大学出版会の充実

目標1-2. 図書館資料の整備と利用のための保存

行動計画1-2-1. 図書・雑誌等の整備

行動計画1-2-2. EJ・DB・EB等の整備

行動計画1-2-3. 資料の保存・デジタル化

目標1-3. 知識や情報の発見可能性の向上

行動計画1-3-1. メタデータの整備

行動計画1-3-2. 図書館システムの機能向上

重点領域2. 知の創出：新たな知を紡ぐ＜場＞の提供

目標2-1. 知を創出する場の整備・機能向上

行動計画2-1-1. 物理的な場の整備

行動計画2-1-2. ネットワーク環境の整備

- 行動計画 2-1-3. 利用者の安全安心の向上
- 目標 2-2. 知を創出する場と支援の提供
 - 行動計画 2-2-1. 学習／学修の場と支援の提供
 - 行動計画 2-2-2. 教育の場と支援の提供
 - 行動計画 2-2-3. 研究の場と支援の提供
 - 行動計画 2-2-4. 交流の場と支援の提供
- 重点領域 3. 知の媒介：知の交流を促す＜人材＞の構築
 - 目標 3-1. 多様な人材との協働
 - 行動計画 3-1-1. 協働による＜知識・情報＞の構築
 - 行動計画 3-1-2. 協働による＜場＞の活性化
 - 目標 3-2. 図書館職員の能力向上
 - 行動計画 3-2-1. 図書館職員像及び職員育成方針の策定
 - 行動計画 3-2-2. 図書館職員の能力向上
 - 目標 3-3. 図書館組織の価値向上
 - 行動計画 3-3-1. 点検評価に基づく自己変革
 - 行動計画 3-3-2. 広報等による理解促進
 - 行動計画 3-3-3. 他機関等との連携

6-3. 歴代図書館長（「扱」は事務取扱）

1950(S25).3.2～1956(S31).3.31	古賀 行義（教育）	KOGA, Yukiyo
1956(S31).4.1～1959(S34).3.31	千代田 謙（文）	CHIYODA, Ken
1959(S34).3.31～1963(S38).3.31	土井 忠生（文）	DOI, Tadao
1963(S38).4.1～1966(S41).6.20	川村 智治郎（理）	KAWAMURA, Toshijiro
1966(S41).6.20～1966(S41).7.1	川村 智治郎（理）扱	KAWAMURA, Toshijiro
1966(S41).7.1～1969(S44).6.30	北林 琢男（政）	KITABAYASHI, Takuo
1969(S44).7.1～1971(S46).3.31	内海 巖（教育）	UTSUMI, Iwao
1971(S46).4.1～1972(S47).3.31	羽白 幸雄（教養）	HAJIRO, Yukio
1972(S47).4.1～1973(S48).3.31	前川 力（理）	MAEKAWA, Tsutomu
1973(S48).4.1～1975(S50).3.31	伊東 隆夫（文）	ITO, Takao
1975(S50).4.1～1978(S53).3.31	鳴海 元（理）	NARUMI, Hajime
1978(S53).4.1～1980(S55).4.1	北村 由之（経）	KITAMURA, Yoshiyuki
1980(S55).4.2～1982(S57).4.1	石田 寛（文）	ISHIDA, Hiroshi
1982(S57).4.2～1984(S59).4.1	桑原 改造（工）	KUWABARA, Kaizo
1984(S59).4.2～1985(S60).3.31	古田 敬一（文）	FURUTA, Keiichi
1985(S60).4.1～1988(S63).3.31	岸本 幸次郎（教育）	KISHIMOTO, Kojiro
1988(S63).4.1～1989(H1).3.31	八木 佐市（法）	YAGI, Saichi

1989(H1).4.1~1991(H3).3.31	陣崎 克博 (総合)	JINZAKI, Katsuhiko
1991(H3).4.1~1993(H5).3.31	津留 宏道 (歯)	TSURU, Hiromichi
1993(H5).4.1~1995(H7).3.31	藤本 黎時 (総合)	FUJIMOTO, Reiji
1995(H7).4.1~1998(H10).3.31	前田 文之 (理)	MAEDA, Fumiyuki
1998(H10).4.1~2001(H13).3.31	位藤 邦生 (文)	ITO, Kunio
2001(H13).4.1~2004(H16).3.31	宮沢 啓輔 (生生)	MIYAZAWA, Keisuke
2004(H16).4.1~2005(H17).3.31	吉里 勝利 (理)	YOSHIZATO, Katsutoshi
2005(H17).4.1~2005(H17.5.20)	牟田 泰三 (理) 扱	MUTA, Taizo
2005(H17).5.21~2007(H19).3.31	位藤 邦生 (文)	ITO, Kunio
2007(H19).4.1~2007(H19).5.20	岡田 光正 (工) 扱	OKADA, Mitsumasa
2007(H19).5.21~2009(H21).3.31	田中 久男 (文)	TANAKA, Hisao
2009(H21).4.1~2011(H23).3.31	佐藤 正樹 (総合)	SATO, Masaki
2011(H23).4.1~2015(H27).3.31	富永 一登 (文)	TOMINAGA, Kazuto
2015(H27).4.1~2019(H31).3.31	寺本 康俊 (法)	TERAMOTO, Yasutoshi
2019(H31).4.1~2020(R2).3.31	古沢 修一 (生生)	FURUSAWA, Shuichi
2020(R2).4.1~2021(R3).3.31	岩永 誠 (総合)	IWANAGA, Makoto
2021(R3).4.1~2023(R5).3.31	棚橋 健治 (教育)	TANAHASHI, Kenji
2023(R5).4.1~	川島 優子 (文)	KAWASHIMA, Yuko

6-4. 沿革 (抄)

1902(M35)	広島高等師範学校図書館開設
1929(S4)	広島文理科大学設置により広島文理科大学附属図書館と改称
1945(S20)	原子爆弾被災 (建物および蔵書数 27 万冊のうち 19 万冊焼失)
1949(S24)	国立学校設置法の公布により、広島大学附属図書館と改称
1950-1961(S25-36)	この間、本館のほか、教育学部、同東雲分校、同三原分校、同福山分校、政経学部、工学部、水畜産学部、皆実分校(教養部)の 8 分館、医学部分館、理論物理学研究所分室、原爆放射能医学研究所分室を設置。(以後、統廃合を実施) 東千田地区に本館竣工(第 1 期) 第 2 期 1959 第 3 期 1962
1965(S40)	国際連合寄託図書館の指定 (~1986)
1970(S45)	経済協力開発機構(OECD)寄託図書館の指定 (~1974)
1972(S47)	電算機による業務機械化開始
1979(S54)	学術文献情報サービス(HUNDRED)開始
1980(S55)	図書館業務システムを自主開発
1982(S57)	工学部分館が東広島市へ竣工移転 (統合移転の開始)
1987(S62)	学術情報センター (現国立情報学研究所) と接続、目録登録開始、広島市立図書館との相互協力サービス開始

- 1992(H4) 東広島キャンパス中央図書館での業務開始
- 1993(H5) 西図書館竣工、広島県立図書館との相互協力サービス開始
- 1995(H7) 中央図書館竣工・移転記念式典開催
- 1996(H8) 附属図書館ホームページの公開、電子ジャーナル利用サービス開始
- 1998(H10) 東広島市立中央図書館と相互協力サービス開始
- 2001(H13) 芸予地震による附属図書館罹災
「斯波文庫漢籍目録」第36回国立大学図書館協議会賞を受賞
- 2002(H14) 広島大学附属図書館百周年記念式典開催
- 2004(H16) 国立大学法人化に伴う事務機構改革（「広島大学図書館」に名称変更）
- 2005(H17) フレンドリー利用者制度の運用開始、研究開発室を設置（～2013.3.31）、
フェニックス文庫、平和学コレクションコーナーを設置、地域交流プラザ
を開設
- 2006(H18) 「広島大学学術情報リポジトリ」公開
- 2009(H21) 総合博物館のサテライト館設置
- 2010(H22) BIBLA【中央図書館】オープン
- 2011(H23) 中央図書館で広大生協電子マネーの利用が可能になる
- 2013(H25) ライティングセンター開設
- 2014(H26) 自動書庫運用開始
- 2018(H30) 中央図書館1F 玄関ホールに la la la Cafe オープン、中央図書館で授業期
平日24時までの開館・第4タームから試験期平日の24時間開館を試行
（コロナ禍で中止）
- 2019(R1) 東図書館、西図書館、霞図書館改修
- 2020(R2) 新型コロナウイルス感染症の感染防止対策を実施（～2023.5.8）
- 2021(R3) 霞図書館でクレジットカード等を利用したキャッシュレス決済を導入
- 2022(R4) 東千田図書館改修
- 2023(R5) 東千田図書館でキャッシュレス決済を導入、論文出版にかかる助成制度を
開始

運営委員会 事務部長推薦 部会長推薦・事務部はともしに若干名

図書館 運営会議	8	人文・社会科学系専門部会	2	5	3	10
		教育科学系専門部会	1	4	3	8
		自然科学系専門部会	2	10	3	15
		生命科学系専門部会	1	6	2	9
		資料選定事務部会			13	13

図書館長	部長	GL	副GL	GL=グループリーダー	主査	主任・グループ員	契約職員	計
図書館部	図書学術情報企画グループ	1	1	図書企画主担当 学術情報企画主担当 図書コレクション主担当 雑誌コレクション主担当		1 0 2 1	1 4 1 1	3 6 10 4
	図書学術情報普及グループ	1	0	レファレンスサービス主担当 東広島地区フロア アサービス主担当		1 1 0	1 1 0	5 5 0
				当		1	1	6
				広島地区フロア		1	0	4
				サービス主担当		1	1	4
				計		9	11	47
								27

WG	リーダー	サブリーダー	メンバー	計	目的
資料管理・保存検討WG	1	3	4	8	適切な資料管理と保存
広報・展示WG	1	0	7	8	Webサイト、SNS、企画展示等
図書館システムWG	1	1	8	10	システムの安定稼働・運用
学生サポーターWG	1	1	3	5	学生サポーターの活用・今後のあり方検討
75年史部局史編纂WG	1	0	4	5	広島大学75年史部局史編纂の編纂

図書館年次報告

https://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/?page_id=32067

広島大学図書館

- ・ 中央図書館 〒739-8512 東広島市鏡山一丁目2番2号
tel.082-424-6214 fax.082-424-6204
- ・ 東図書館 〒739-8512 東広島市鏡山一丁目4番5号
tel.082-424-6225 fax.082-424-6222
- ・ 西図書館 〒739-8512 東広島市鏡山一丁目7番2号
tel.082-424-6229 fax.082-424-6223
- ・ 霞図書館 〒734-8552 広島市南区霞一丁目2番3号
tel.082-257-5902 fax.082-257-5904
- ・ 東千田図書館 〒730-0053 広島市中区東千田町一丁目1番89号
tel.082-542-6972 fax.082-542-6974
- ・ 図書館ウェブサイト <https://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/>
- ・ 図書館 X https://twitter.com/HiroshimaU_Lib